HONDA
The Power of Dreams

取扱説明書

Gathers

Honda Multi Car-AV System

ディスプレイオーディオ

WX-151CP

WX-151C

Honda Access

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書は、
ご使用のまえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 商品はHonda車専用です。商品の適用車種はHonda販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合、一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
- Honda車への取り付け･配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げのHonda販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

本機を第三者に譲渡･転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意の上、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

- メモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ(メンテナンス情報など)を、本書に記載した内容に従って初期化(データの消去)するようにしてください。

■著作権保護のために…

- 本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡(有償、及び無償)･転売いたしますと著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

■個人情報のお取り扱いについて

- 個人情報保護に関する弊社基本方針、及び個人データのお取り扱いにつきましては弊社ホームページをご覧ください。

http://www.honda.co.jp/ACCESS/news/0401/

保証書やアフターサービスの詳細、その他のご不明な点は
お買い求めのHonda販売店へご相談ください。

事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

安全のために必ずお読みください

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる事故やケガに対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■ 誤った使用をした場合に生じる危害・損害の程度の説明

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う危険が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の説明

強制	必ず実行していただく強制の内容を示しています。
禁止	禁止(やってはいけないこと)の内容を示しています。
⚠	注意(警告を含む)しなければならない内容を示しています。

取り付け・接続

⚠ 警告

強制

取り付け・配線、取り付け場所の変更は、安全のため必ずHonda販売店に依頼する

取り付け、配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、事故・火災・ケガ・故障の原因となります。また、お客様ご自身による取り付け・配線は、事故・火災・ケガ・故障の原因になります。車に支障をきたすこともありますので、お買い上げのHonda販売店にご依頼ください。

禁止

分解・改造をしない

特にコードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。事故・火災・感電の原因になります。

使用方法

⚠ 警告

強制

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず停車してパーキングブレーキをかける

交通事故の原因になります。テレビやビデオは、安全のため走行中は表示されません。

緊急時に使用する場合は、本製品の情報のみに頼らない

交通事故の原因になります。警察や消防署、病院などに連絡をして、状況に応じて場所などの確認を行ってください。

カメラ使用時も目視による安全確認を必ず行う

カメラの死角になっている人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因になります。

禁止

故障や異常な状態のまま使用しない

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、必ず販売店(かサービス相談窓口)に相談する。そのまま使用すると事故・火災・感電の原因になります。

運転中は操作をしたり、画面を見ない

交通事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、必ず安全な場所に停車してください。

エンジンを停止したままで長時間使用しない

車のバッテリーがあがる恐れがあります。

高温の場所(直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で本機を長時間使用しない

火災・やけどの原因になります。

カメラは周囲確認の補助装置です。カメラの画像だけを見て運転しない

カメラ画像で表示できる範囲には限りがあるため、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因になります。

⚠注意

禁止

車以外には使わない

感電・ケガの原因になります。

メディア挿入口等の機器内部に、指や異物を入れない

ケガ・故障の原因になります。

落下させる、たたくなどの強い衝撃を与えない

故障・火災の原因になります。

大きな音量で使用しない

車外の音が聞こえないことによる交通事故・故障または聴力障害の原因になります。

カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なるため注意して使用する

事故の原因になります。

取り扱い上のご注意

使用上のお願い

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

- 本機側の雑音や誤動作の原因になったり、電話や無線機の正常な送受信ができなくなる場合があります。
  電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをおすすめします。
  また、リモコンスターター・カーセキュリティも誤動作の原因になる場合があります。

無理な力を加えない

- 製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

お手入れは乾いた布を使う

- お手入れは乾いた布か堅く絞った布でふいてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

- 車内の温度が極端に高い(炎天下駐車)ときや低い(厳冬期駐車)ときは、常温になってからお使いください。

お知らせ

本機は国内で使う

- 本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

お読みください

- この取扱説明書に記載されているソフトウェアは、ライセンスの所有者にのみ供給され、同ライセンスの許可する条件のもとでのみ使用することが許されます。
- 当該ライセンスが許可している場合を除き、本出版物のいかなる部分も株式会社ホンダアクセスの書面による事前の許可なしには、いかなる条件下でも、また電子的・機械的・録音・その他のいかなる手段によっても、コピー・検索システムの記憶・転送を行うことはできません。
- この取扱説明書に記載された内容は、情報の提供のみを目的にしており、予告無しに変更されることがあります。
- 仕様および外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は日本国内専用です。

モニターのお手入れ

- モニターが汚れたら柔らかい布(シリコンクロスなど)でふいてください。
- 汚れがひどい場合は水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、よくしぼってからふきとってください。
- 「水」や「水で薄めた中性洗剤」は直接モニターにかけないでください。

  液体が内部に入り「シミ」や「故障」の原因になります。
- モニターは傷つきやすいため、硬いものでふいたり、こすったり、物をぶつけたり、強い力で押したりしないでください。
- ベンジン・アルコール・シンナーは使用しないでください。変色・変質の原因になります。

⚠注意

- 本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

⚠ご使用前にお読みください

- 運転中の操作は大変危険です。必ず停車中に操作してください。
- 本機を使用したことにより発生したお客様本人および第三者のいかなる損害についても、弊社はその責任を一切負いかねます。
- 本機収録の内容に誤字・脱字・位置ずれ等の表記または内容に関する誤りに対して、取り替え・代金の返却はいたしかねます。
- 本機収録の内容は予告なく変更されることがあります。
- 本機に含まれる機能がお客様の特定目的に適合することを、弊社は保証するものではありません。

ディスクについてのご注意

本機で再生できるディスクについて

● 再生できるディスク

本機では次のディスクが再生できます。

	マーク(ロゴ)	記録内容	ディスクの大きさ
音楽CD※	COMPACT disc DIGITAL AUDIO / COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT	音声	12cm

※ ディスクレーベル面に上記マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。

※ 8cmディスクはアダプタを使用しても再生できません。

● 再生可能フォーマット一覧

本機対応のフォーマットで記録されたデータのみ再生することができます。「本機対応の圧縮フォーマットについて」(89ページ)を参照してください。

	CD-R/CD-RW
CDフォーマット	○
MP3フォーマット	○
WMAフォーマット	○

• ファイナライズ処理されていないディスクは再生されません。

再生できないディスク

● CD-ROM(MP3/WMAファイルを除く)、ビデオCD、フォトCDなど。

コンパクトディスク(CD/CD-R/CD-RW)のご使用について

● CD規格外ディスクを使用された場合には安定した再生や最良な音質の保証はいたしかねます。

また、本機は音楽専用機器で録音した音楽専用のCD-R(CD-Recordable)/CD-RW(CD-ReWritable)、MP3/WMAファイル形式のCD-R/CD-RWの再生が可能です。

次のようなディスクは、再生できないことがあります。

指紋やキズが付いている/車内や製品内に長時間放置した/データ書き込み状態が不安定/データ書き込みに失敗し再録音した場合など。

MP3/WMAファイルは、本機対応のフォーマットで記憶したディスクを使用してください。詳しくは89ページを参照してください。

CD-R/CD-RWをご使用のお客様へ

● CD-R/CD-RWが再生できない場合は、クローズセッション(ファイナライズ処理)を行っているかどうか、確認してください。
行われていない場合は、クローズセッション(ファイナライズ処理)を行い、再度お試しください。

● マルチセッションに対応しています。"Track at once"で書き込んだ場合、クローズセッションや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

取り扱い上のご注意(ディスク)

● 故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。

盤面にさわらない/直射日光下に置かない/ラベルを貼らない/ホコリやごみが付いたら拭きとる/バリが無いことを確認する/市販のアクセサリーを使わない。

特にCD-R/CD-RWは以下の点について十分に注意してください。

車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱いため、ディスクが劣化し再生不能となる場合があります。

● **特殊な形状のディスクは使わない。**

必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

● **ディスクのお手入れ**

柔らかいきれいな布で中心から外に向かってやさしく拭き取ってください。

● **新品のバリに注意**

ディスクの側面やセンターホール面にバリ(突起)があると勝手にイジェクトします。このような場合は、ボールペンなどで縁をなぞって突起を取り除いてください。

USBメモリーについてのご注意

再生できるUSBメモリーについて

● **本機はUSB Mass Storage Class 対応のUSBメモリーを操作できます。**

● **USBメモリー規格に準拠したUSBメモリーをご使用ください。**

● **32GBまでの容量のUSBメモリーに対応しています。(256MB以上を推奨)**

● **対応USB規格**

USB 1.1 / 2.0

● **対応ファイルシステム**

FAT 16/32

● **供給電圧**

5V

● **再生可能フォーマット一覧**

本機対応のフォーマットで記録されたデータのみ再生することができます。「本機対応の圧縮フォーマットについて」(89ページ)を参照してください。

- MP3フォーマット
- WMAフォーマット
- AACフォーマット
- MP4フォーマット
- AVIフォーマット
- WMVフォーマット

再生できないUSBメモリー

● **ハブ付USBメモリーは再生できません。また、USBハブも接続対象外です。**

取り扱い上のご注意

● **USBメモリーの動作保証はしておりません。ご使用の際には、USBメモリーの使用条件内でのご利用をお願いいたします。USBメモリーの取扱説明書もよくお読みください。**

● **以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。**

- 高温になった車内や炎天下など気温の高い場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

特に以下の点について十分に注意してください。

車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱いため、USBメモリーが劣化し再生不能となる場合があります。

● **USBメモリーは運転に支障をきたさない場所に固定してください。**

● **USBメモリーは高温・低温時には正常に動作しない場合があります。**

● **USBメモリー規格に準拠したUSBメモリーを使用しても、USBメモリーの種類や状態により正常に動作できない場合があります。**

● **USBメモリーの種類や記録状態、エンコードソフトの設定によっては再生や表示ができない場合があります。**

● **コピープロテクト(著作権保護)されたファイルは再生できません。**

● **複数のパーティションを持つUSBメモリーはサポート対象外です。**

● **セキュリティ機能を持つUSBメモリーはサポート対象外です。**

● **大切なデータはパソコン等を用いて、バックアップを取っておくことをお勧めします。**

iPod/iPhoneについてのご注意

■ 本機で対応可能なiPod/iPhone

2014年6月現在

対応モデル	バージョン	音楽再生	iPhone連携
iPod 第3世代	−	×	×
iPod 第4世代(クリックホイール)	−	×	×
iPod photo 含む　iPod with color display	−	×	×
iPod 第5世代(with video)	1.3	○	×
iPod classic(80G/160G)	1.1.2	○	×
iPod classic(120G)	2.0.1	○	×
iPod classic(160GB)	2.0.4	○	×
iPod mini(第1世代)	−	×	×
iPod mini(第2世代)	−	×	×
iPod nano(第1世代)	1.3.1	○	×
iPod nano(第2世代)	1.1.3	○	×
iPod nano(第3世代)	1.1.3	○	×
iPod nano(第4世代)	1.0.4	○	×
iPod nano(第5世代)	1.0.2	○	×
iPod nano(第6世代)	1.2	○	×
iPod nano(第7世代)	1.0.3	○	×
iPod touch(第1世代)	1.1.5	○	×
iPod touch 第1世代(ソフトウェアver2.x)	2.2.1	○	×
iPod touch 第1世代(ソフトウェアver3.x)	3.1.3	○	×
iPod touch(第2世代)	4.2.1	○	×
iPod touch(第3世代)	5.1.1	○	×
iPod touch(第4世代)	6.1.6	○	×
iPod touch(第5世代)	7.1.1	○	×
iPhone 3G(softbank)	4.2.1	○	×
iPhone 3GS(softbank)	6.1.6	○	×
iPhone 4(softbank)	7.1.1	○	×
iPhone 4S(softbank/au)	7.1.1	○	○
iPhone 5(softbank/au)	7.1.1	○	○
iPhone 5s(docomo/softbank/au)	7.1.1	○	○
iPhone 5c(docomo/softbank/au)	7.1.1	○	○

- 最新の適応情報は下記ホームページをご確認ください。
  http://www.honda.co.jp/navi/support/
- iPad、iPad2には対応していません。

取り扱い上のご注意

- iPod/iPhoneの機能については、iPod/iPhoneユーザーズガイドを参照してください。
- 車内の温度が極端に高い(炎天下駐車)ときや低い(厳冬期駐車)ときにiPod/iPhone を車内に放置すると、iPod/iPhone 故障の原因になります。
- 本製品を使用中にiPod/iPhoneのデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

HDMIについてのご注意(WX-151CPのみ)

本機で対応しているHDMI規格について

本機で対応しているHDMI規格は次の通りです。下記以外の動作保証および性能保証はいたしかねます。

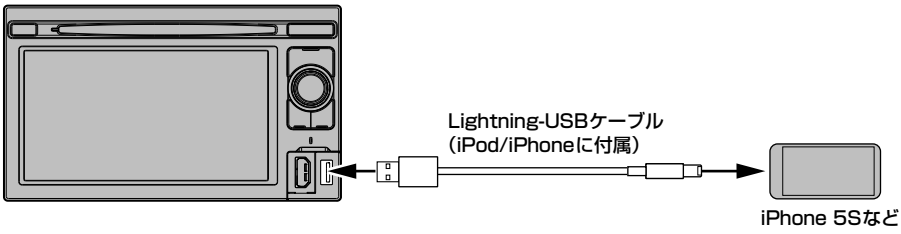
- **映像規格**
  解像度:480p/480i

本機と外部機器との接続について

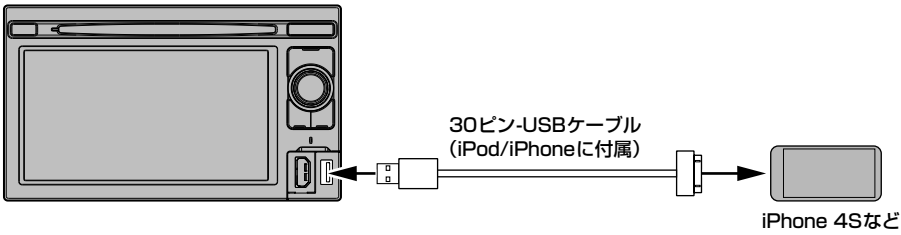
- 接続する外部機器は、ハンドル付近やエアバッグ付近を避け、運転に支障をきたさない場所に固定してください。

■ iPhone/iPodを使う

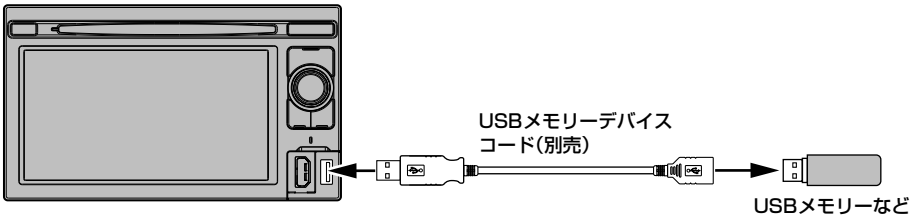
LightningコネクタのiPod/iPhoneの場合



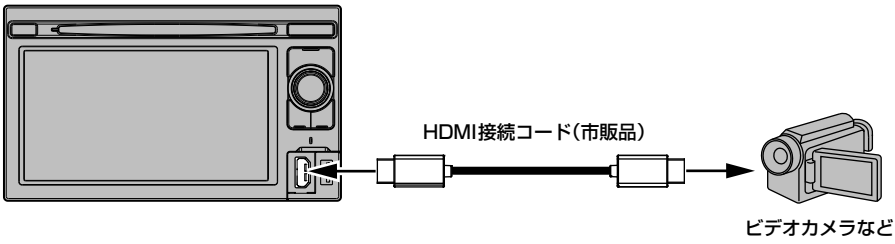
DockコネクタのiPod/iPhoneの場合



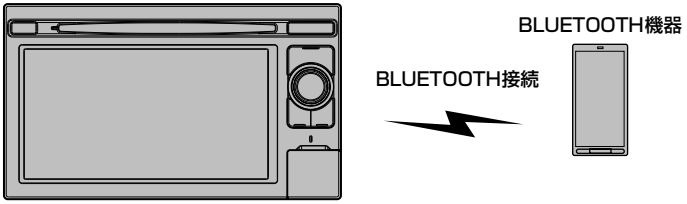
■ USB機器を使う



■ ビデオカメラなどHDMI機器を使う(WX-151CPのみ)



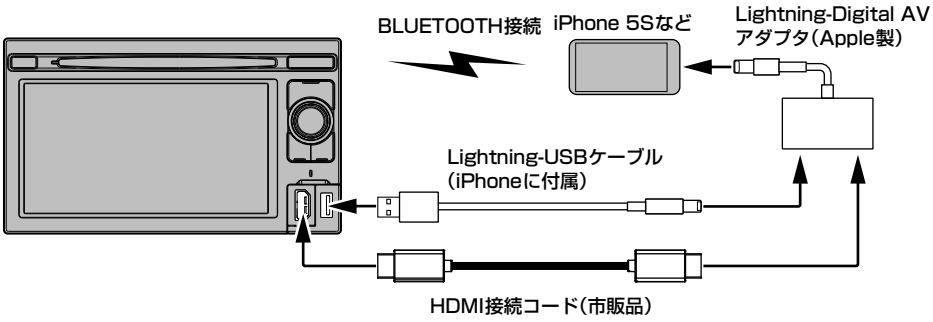
■ ハンズフリー電話/BLUETOOTH AUDIO機器を使う(WX-151CPのみ)



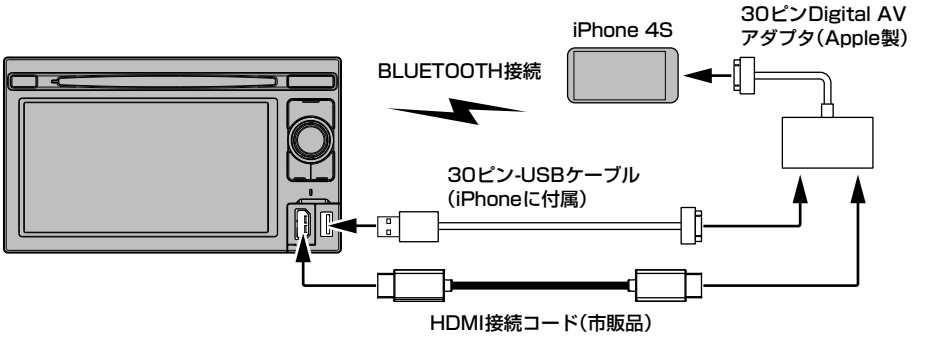
■ iPhone連携機能を使う(WX-151CPのみ)

• iPhone連携時は、USB接続のiPod/iPhone(41ページ)、HDMI対応機器(53ページ)、BLUETOOTH AUDIO(55ページ)操作を行うことはできません。

Lightningコネクタのiphoneの場合



Dockコネクタのiphoneの場合



本書の見かた

本説明書は主にWX-151CPのイラスト/画面を例に説明しています。
特に説明がない場合、WX-151Cも同じ操作です。

1.項目タイトル
項目ごとにタイトルがつけられています。

2.注意
制限事項や注意事項など重要な説明をしています。必ずお読みください。

BLUETOOTH接続について

本機はBLUETOOTH(ブルートゥース)規格対応の携帯電話と無線で接続することができます。携帯電話と接続すると、本機のマイクやスピーカーを使ってドライブ中に手ぶらで通話ができます(ハンズフリー通話)。登録した携帯電話が音楽機能つきの場合は、携帯電話の音楽も再生できます(55ページ)。

- BLUETOOTHは、近距離にある機器間で無線でデータ交換を行うための世界標準規格です。
- NTTドコモ・au・ソフトバンクが提供するBLUETOOTH対応の携帯電話は本機と接続できますが、携帯電話の機種によって対応機能に差異があります。お使いの携帯電話と本機の適合については下記のホームページでご確認ください。
  http://www.honda.co.jp/navi/support/

⚠
- **交通量の多い市街地や狭い道でのご利用は避けてください。**
- **安全のため、携帯電話を直接操作しないでください。運転中の携帯電話のご使用は法律で禁止されています。**

本機で使用できるプロファイルについて

プロファイルは、BLUETOOTH通信の接続手順を機能ごとに標準化したもので、プロファイルが本機と携帯電話で一致していない機能は利用できません。お使いの携帯電話が本機の対応プロファイルと一致しているかどうか確認してください。

- HFP:ハンズフリー通話を行うためのプロファイル
- OPP/PBAP:電話帳のデータなどを送受信するためのプロファイル
- SYNC:各種データを自動的に同期するためのプロファイル
- SPP:仮想シリアルポートを用いて2台のデバイスを接続するプロファイル
- A2DP:音声データを送信するためのプロファイル
- AVRCP:ポータブルオーディオプレーヤーで音楽再生の操作を行うためのプロファイル

ハンズフリー電話について

BLUETOOTH対応の携帯電話を本機とBLUETOOTH接続することでハンズフリー通話ができます。ハンズフリー電話を使うと、本機から電話をかけたり受けたりすることができ、運転中でも携帯電話を持たないで通話することができます。また本機に携帯電話の電話帳を読み込んで電話をかけることもできます。

- 本機に接続した状態で携帯電話の電源をON/OFFしないでください。
- 本機に接続して携帯電話を充電することはできません。電池が切れそうな携帯電話は接続しないでください。
- 携帯電話は操作制限(キーロック等)を解除してから接続してください。
- 携帯電話側の自動応答設定がONとなっている場合、本機で「自動着信」を「しない」に設定しても、自動的に電話を受ける場合があります。
- 通話中は、大きめの声ではっきりとお話ください。
- 通話中は、窓を閉めてお話ください。
- 話し方によっては相手に声が伝わりにくい場合や、相手の声が聞こえにくい場合があります。
- ハンズフリー電話同士の通話、騒音の大きい場所での通話など、使用状況によっては話しにくい場合があります。
- 相手の電話の種類や電話回線の組み合わせにより、不自然な音声になる場合があります。
- 携帯電話の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。また、サービス契約が必要な場合もあります。
- 携帯電話をUSBモードに設定していると使用できない場合があります。設定を通信モードに変更してください。

64

■本書でのスイッチ/キー表記について

● 本体スイッチは、〔○○○〕でスイッチ名称(〔HOME〕など)を表示しています。

● 画面のタッチキーは、○○○ またはアイコンでキー名称(**ワンセグ** など)を表示しています。

携帯電話を接続する

初めてお使いになるときは、お使いの携帯電話を以下の手順に従って本機に登録してください。登録した携帯電話は、そのBLUETOOTH機能がONになっていれば、エンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)にするだけで本機と自動的に接続されます。

携帯電話を本機に登録する

携帯電話から本機を探して登録することができます。

1 HOME スイッチを押します。

2 電話 にタッチします。

電話画面が表示されます。

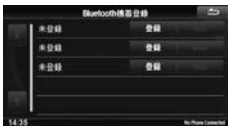
3 設定 にタッチします。

電話設定画面が表示されます。

4 Bluetooth機器登録 にタッチします。

Bluetooth機器登録画面が表示されます。

5 「未登録」の 登録 にタッチします。



6 携帯電話から探す にタッチします。

デバイス名とパスキーが表示され、携帯電話からの接続待機状態になります。

7 携帯電話のBLUETOOTH機能をオンにし、携帯電話で本機を検索します。

8 携帯電話にパスキーの入力画面が表示されたら、本機のパスキーを入力して登録します。

携帯電話によってはパスキーの入力が不要な機種もあります。

- 本機デバイス名の初期値は「Gathers」です。
- パスキーの初期値は「1212」です。
- BLUETOOTH 接続されると、画面下部にBLUETOOTHインジケーターが表示されます。
- パスキーの入力が不要な場合は、確認画面が表示されます。本機と携帯電話に表示されている数字が同じであることを確認して はい にタッチしてください。
- 携帯電話を置く場所によっては、障害物や電波の状態により音声にノイズがのったり、通信が中断される場合があります。このような場合は、携帯電話を本機の近くや障害物のない場所に置くようにしてください。
- 本機は携帯電話を3台まで登録しておくことができます。実際に接続できるのはその中の1台になります。使用する携帯電話の切りかえは、「接続するBLUETOOTH機器を変更する」(66ページ)を参照してください。

3.操作タイトル
操作目的ごとにタイトルがつけられています。

4.操作画面
操作の画面を示しています。

5.結果文
操作を行ったあとの状態を示しています。

6.操作手順
操作の手順を示しています。

7.補足
手順や結果に対する補足説明をしています。

8.セクション見出し
セクションの見出しを表示しています。

9.アドバイス
知っておくと便利な情報や、関連する参照先などを示しています。

目次

はじめに 3

安全のために必ずお読みください.....3
取り付け･接続.....3
使用方法.....3
取り扱い上のご注意.....4
お読みください.....5
モニターのお手入れ.....5
ディスクについてのご注意.....6
USBメモリーについてのご注意.....7
iPod/iPhoneについてのご注意.....8
HDMIについてのご注意(WX-151CPのみ).....9
本機と外部機器との接続について.....10

本書の見かた.....12

基本操作 17

準備.....18
各部の名称と操作.....18
タッチキーの操作.....20
インジケーター表示について.....20
iPod/iPhoneの接続.....20
USBメモリーの接続.....21
HDMI機器の接続(WX-151CPのみ).....21

基本操作.....23
電源のON/OFF.....23
音量を調整する.....23
HOME画面を表示する.....23
オーディオモードを選ぶ.....24
オーディオモードをOFFにする.....25
ディスプレイをOFFにする.....25
昼画面と夜画面を切りかえる.....25
リスト画面の操作.....25
一時的に映像画面の時計表示を消す.....26

ラジオ 27

ラジオ操作.....28
ラジオを聴く.....28
バンドを切りかえる.....28
手動で放送局を選ぶ.....28
自動で放送局を選ぶ.....29
放送局を記憶する(プリセット).....29
プリセットキーから放送局を選ぶ.....29
放送局をスキャンする.....29
交通情報を受信する.....30

ワンセグ 31

ワンセグ操作.....32
ワンセグを表示する.....32
チャンネルを自動で記憶する(オートプリセット).....33
プリセットしたチャンネルを呼び出す.....33
プリセットしたチャンネルを切りかえる.....33
自動で放送局を選ぶ.....33
チャンネルを手動で記憶する(プリセット).....33
ホームモード/お出かけモードを切りかえる.....34
音声を切りかえる.....34
サービスを切りかえる.....34
番組情報をスクロール表示する.....34

CD/MP3/WMA 35

CD/MP3/WMA操作.....36
CDの出し入れ.....37
再生する.....37
聴きたい曲を選ぶ.....38
早送り･早戻しする.....38
繰り返し聴く(リピート).....38
曲順を変えて聴く(ランダム).....38
曲のイントロだけを聴く(スキャン).....39
曲名/アーティスト名/アルバム名をスクロール表示する.....39

聴きたい曲を探す.....40
トラックリストサーチ(CD).....40
フォルダを選ぶ(MP3/WMA).....40
ファイルサーチ(MP3/WMA).....40

iPod/iPhone 41

基本操作.....42
再生する.....42
聴きたい曲を選ぶ.....43
早送り･早戻しする.....43
繰り返し再生する(リピート).....43
曲順を変えて聴く(シャッフル).....43
全ての曲をシャッフル再生する.....44
曲名/アーティスト名/アルバム名をスクロール表示する.....44

聴きたい曲を探す 45
聴きたいファイルを探す 45
カテゴリーアップ/ダウン機能 46

USBメモリー 47

基本操作 48
再生する 49
オーディオモードとビデオモードを切りかえる 49
聴きたい曲/見たい映像を選ぶ 49
早送り・早戻しする 50
繰り返し再生する(リピート) 50
ランダムに再生する 50
曲のイントロだけを聴く(スキャン) 50
曲名/アーティスト名/アルバム名をスクロール表示する 51
聴きたい曲・見たい映像を探す 52
フォルダを選ぶ 52
ファイルサーチ 52

WX-151CPのみ
HDMI 53

HDMI対応機器の操作 54
HDMIモードにする 54

WX-151CPのみ
BLUETOOTH AUDIO 55

BLUETOOTH AUDIO操作 56
再生する 57
一時停止する 57
聴きたい曲を選ぶ 57
早送り・早戻しする 57
繰り返し再生する(リピート) 57
曲順を変えて再生する(ランダム) 57
グループを選ぶ 58
ファイルサーチ 58
曲名/アーティスト名/アルバム名をスクロール表示する 58

リアカメラ 59

リアカメラ操作 60
後方の映像を映す 60
リアカメラ操作 60
リアカメラガイドの見かた 61

WX-151CPのみ
ハンズフリー電話を使う 63

BLUETOOTH接続について 64

携帯電話を接続する 65
携帯電話を本機に登録する 65
携帯電話の接続を解除する 66
接続するBLUETOOTH機器を変更する 66
電話を受ける・切る 67
電話を受ける 67
電話を切る 67
電話をかける 68
短縮ダイアルから電話をかける 68
直前にかけた電話番号に電話をかける 69
着信履歴から電話をかける 69
発信履歴から電話をかける 70
電話帳から電話をかける 70
番号を入力して電話をかける 71
通話中の操作 72
通話音量を調整する 72
携帯電話の通話に切りかえる 72
一時的に送話音声を消す(ミュート) 72
トーン発信機能 72
電話設定 73
パスコードを変更する 73
優先的に接続する携帯電話を設定する 73
自動着信を設定する 74
本機のBLUETOOTH情報を表示する 74

WX-151CPのみ
iPhone連携 75

iPhone連携機能 76
iPhoneの接続 76
スマートフォンの時刻情報を利用する 77

設定・調整 79

画質調整 80
画質調整操作 80
AUDIO設定 81
AUDIO設定操作 81
時計設定 82
時計設定操作 82

リアカメラ設定.....83
次回表示ビューモードを選択する
（リアワイドカメラ接続時のみ）.....83
その他設定.....84
操作音の設定.....84
iPhone LINKの設定（WX-151CPのみ）.....84
本機を工場出荷状態に戻す.....85

その他 87

オーディオリモコンスイッチ操作.....88
本機対応の圧縮フォーマットについて.....89
本機対応のファイル形式について.....89
圧縮オーディオ・ビデオについて.....90
初期設定一覧.....93
トラブルシューティング
（故障かな？と思ったら）.....94
トラブルシューティング
（表示メッセージと対処方法）.....97
電波に関する注意事項.....99
保証について/規格.....100
索引.....103

基本操作

■準備 18
各部の名称と操作 18
タッチキーの操作 20
インジケーター表示について 20
iPod/iPhoneの接続 20
USBメモリーの接続 21
HDMI機器の接続（WX-151CPのみ） 21

■基本操作 23
電源のON/OFF 23
音量を調整する 23
HOME画面を表示する 23
オーディオモードを選ぶ 24
オーディオモードをOFFにする 25
ディスプレイをOFFにする 25
昼画面と夜画面を切りかえる 25
リスト画面の操作 25
一時的に映像画面の時計表示を消す 26

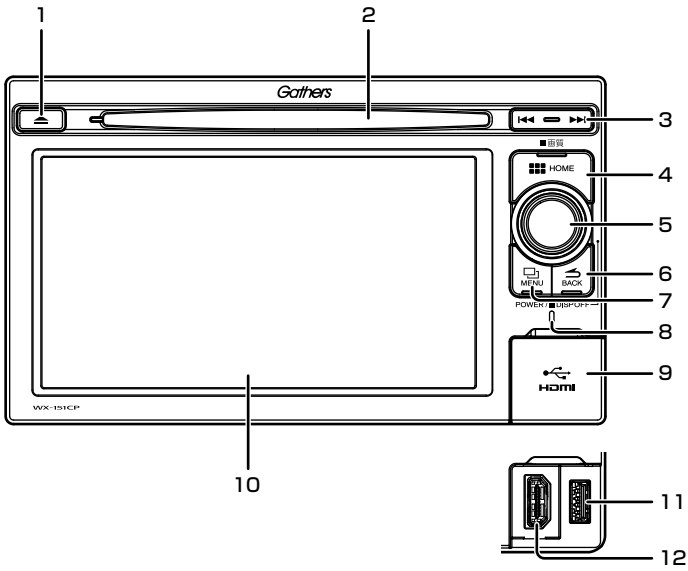
準備

本機は本体スイッチを押したり、画面に表示されるタッチキーに直接タッチして操作します。

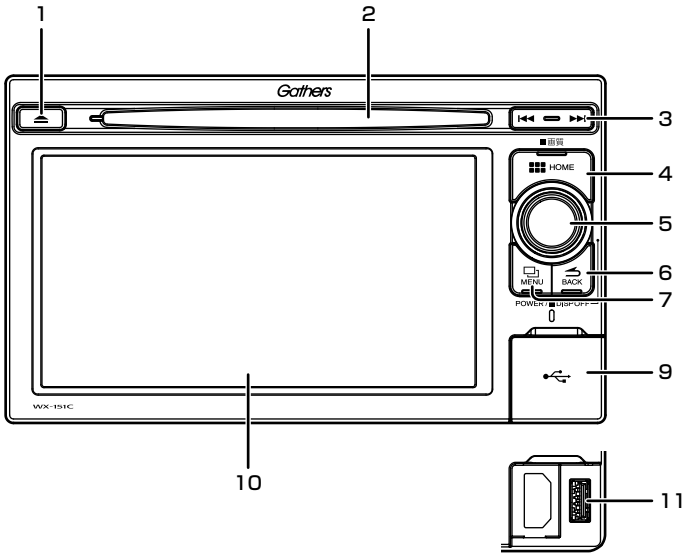
- 本説明書は主にWX-151CPのイラスト/画面を例に説明しています。特に説明がない場合、WX-151Cも同じ操作です。

各部の名称と操作

■ WX-151CP



■ WX-151C



1 ⏏ **(ディスクイジェクト)スイッチ**
ディスクを取り出します。噛み込みなどディスクが取り出せない時は、2秒以上押すとディスクが押し出されます。

2 CD挿入口
CDを挿入します。

3 ⏮ ⏭ **スイッチ**
選局･選曲を行います。0.5秒以上押すと自動選局･早送り/早戻しを行います。

4 HOME **(■画質)スイッチ**
HOME画面を表示します。2秒以上押すと、画質調整画面を表示します。

• WX-151CP HOME画面表示例

• WX-151C HOME画面表示例

5 ロータリーエンコーダー(POWER/■DISP OFF)
左右に回して音量を調整します。押すとオーディオモードをOFFにします。2秒以上押すと画面表示をOFFにします。

6 BACK **スイッチ**
前の画面に戻ります。

7 MENU **スイッチ**
設定画面を表示します。

8 ハンズフリー用内蔵マイク(WX-151CPのみ)

9 端子カバー
手前に引くと開きます。

10 画面

11 USB端子
USBメモリーまたはiPod/iPhoneを接続します。

12 HDMI端子(WX-151CPのみ)
HDMI対応製品を接続します。

タッチキーの操作

画面に表示されるタッチキーに直接タッチして操作します。

① **タッチキー**

■ 各画面共通タッチキー

: 前の画面に戻ります。

■ タッチキーの操作について

- 画面保護のため、タッチキーは指で軽くタッチしてください。
- タッチキーの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- 操作音の有無を設定することができます(「操作音の設定」84ページ参照)。

• 画面のよごれは、柔らかい布(シリコンクロスなど)で軽く拭き取ってください。手で強く押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してありますので、ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

インジケーター表示について

画面下部のインジケーターバーには、現在時刻など、様々な情報が表示されます。

① **現在時刻**
② **携帯電話バッテリーの残表示**※
③ **携帯電話電界強度**※
④ **BLUETOOTH接続時点灯**※
⑤ **オーディオモードOFF表示**
⑥ **接続中の携帯電話名称**※

※ WX-151CPのみ

- 現在時刻を表示するかどうかを設定することができます(「時計表示を設定する」82ページ)。

iPod/iPhoneの接続

iPod/iPhoneに付属のUSBケーブルを本機のUSB端子に接続してください。

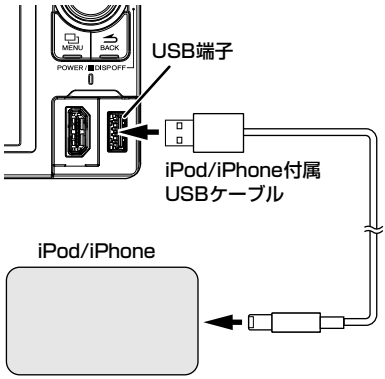
- iPhone連携機能を使用する場合の接続とは異なります。iPhone連携機能時の接続については、「本機と外部機器との接続について－iPhone連携機能を使う(WX-151CPのみ)」(11 ページ)、「iPhone連携機能」(76ページ)を参照してください。

iPod/iPhone を接続する

1 **端子カバーを開けて、本機のUSB端子にiPod/iPhone付属のUSBケーブルを接続します。**

2 **USBケーブルにiPod/iPhoneを接続します。**

■ 接続例:iPhone 5S



- 運転中はiPod/iPhoneを接続しないでください。事故·ケガの原因になります。
- 運転中はiPod/iPhoneのイヤホンを使用しないでください。事故·ケガの原因になります。
- 再生中のiPod/iPhoneを本機に接続すると、今まで聞いていた曲の続きから再生を行います。
- iPod/iPhoneを接続しても音が出ないときや、iPod/iPhoneを認識できない場合は、一度iPod/iPhoneを外して再接続するか、iPod/iPhoneのリセットを行ってください。

- 本機にiPod/iPhone を接続する前に、iPod/iPhoneのEQ機能を「オフ」に設定することをお勧めします。
- iPod/iPhoneとUSBメモリーを同時に接続することはできません。
- 接続するiPod/iPhoneによっては、本機にiPod/iPhoneを接続した状態でエンジンスイッチをOFFにすると、iPod/iPhoneの電源がOFFになるまで約2分かかります。

iPod/iPhoneを外す

iPod/iPhone再生中でもiPodを外すことができます。

1 **USBケーブルからiPod/iPhoneを外します。**

- 運転中はiPod/iPhone を外さないでください。事故･ケガの原因になります。

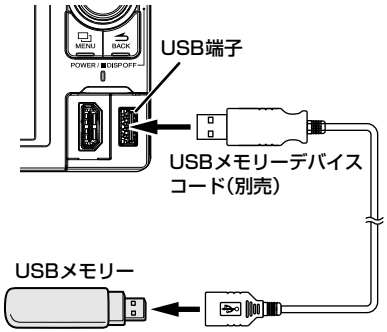
USBメモリーの接続

USBメモリーを再生させるには、別売のUSBメモリーデバイスコードが必要になります。USBメモリーデバイスコードはお買い上げのHonda販売店よりお求めください。

USBメモリーを接続する

1 **端子カバーを開けて、本機のUSB端子に別売のUSBメモリーデバイスコードを接続します。**

2 **USBメモリーデバイスコードにUSBメモリーを接続します。**



- 運転中はUSBメモリーを接続しないでください。事故･ケガの原因になります。
- USBメモリーを接続しても音が出ないときやUSBメモリーを認識しない場合は、一度USB メモリーを外して再接続してください。
- USBメモリーとiPod/iPhoneを同時に接続することはできません。

USBメモリーを外す

1 **USBメモリーデバイスコードからUSBメモリーを外します。**

- 運転中はUSBメモリーを外さないでください。事故･ケガの原因になります。
- USBメモリーを取り外す時には、USBメモリーを真っ直ぐ引き抜いてください。
- USB再生中は、USBメモリーを取り外さないでください。他のオーディオモードに切りかえてから、またはエンジンスイッチOFF時に取り外してください。

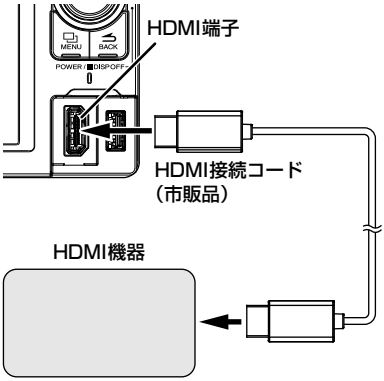
HDMI機器の接続(WX-151CPのみ)

市販品のHDMIケーブルをご使用ください。

HDMI機器を接続する

1 **端子カバーを開けて、本機のHDMI端子に市販品のHDMI接続コードを接続します。**

2 **HDMI接続コードにHDMI機器を接続します。**



- 運転中はHDMI機器を接続しないでください。事故やケガの原因となります。

- HDMI機器を接続しても映像･音楽･写真などが再生できないときやHDMI機器を認識しない場合は、一度HDMI機器を外して再接続してください。
- HDMI機器に映像･音声出力設定がある場合は、本機に接続する際に「オン」にしてください。オンにしないと、映像･音声を本機に出力することができません。

HDMI機器を外す

1 HDMI接続コードからHDMI機器を外します。

- 運転中はHDMI機器を操作しないでください。事故やケガの原因になります。
- HDMI機器を使用しているときにエンジンスイッチをOFFにしてもHDMI機器の電源は切れません。HDMI本体の電源をOFFにしてください。
- HDMI再生中は、HDMI機器を取り外さないでください。他のオーディオモードに切りかえてから、またはエンジンスイッチOFF時に取り外してください。

基本操作

電源のON/OFF

1 **エンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)にします。**

本機の電源が自動的に入ります。電源が入るとオープニング画面に続いてモード画面(ラジオ画面など)が表示されます。

表示されるモード画面はエンジンスイッチをOFFにする前のモード画面を表示します。例えば、ワンセグモードでエンジンスイッチをOFFからONにすると、ワンセグモードで起動します。

車のエンジンスイッチをOFFにすると、本機の電源もOFFになります。

- 交通情報受信中にエンジンスイッチをOFFにした場合は、交通情報に切りかわる前のモードで本機が立ち上がります。
- 電源を入れた直後は、画面が暗く見にくいときがありますが、数分たちますと正常表示になります。また画面(液晶パネル)は、全有効画素中に微少の画素欠や常時点灯画素がある場合がありますが故障ではありません。

音量を調整する

1 **「ロータリーエンコーダー」を左右に回します。**

① 音量値

音量を調整できます。

設定値:0～40

- スマートフォンのナビアプリの案内音量の設定方法は、「ナビアプリの案内音量を設定する」(84ページ)を参照してください。

HOME画面を表示する

HOME画面を表示して、本機の様々な操作を行います。

- WX-151CPとWX-151CはHOME画面が異なります。

■WX-151CPの操作

1 **HOME スイッチを押します。**

HOME画面が表示されます。

① オーディオ画面表示
② 電話画面表示(63ページ)
③ 設定画面表示(79ページ)
④ iPhone連携画面表示(75ページ)
⑤ 交通情報表示(30ページ)
⑥ 昼画面/夜画面切りかえ(25ページ)

■WX-151Cの操作

1 HOME スイッチを押します。

HOME画面が表示されます。

① オーディオモード切りかえキー
② 交通情報表示(30ページ)
③ 昼画面/夜画面切りかえ(25ページ)

オーディオモードを選ぶ

オーディオモードは画面上部に表示されるオーディオモード切りかえキーにタッチして切りかえます。
HOME画面から切りかえることもできます(WX-151Cのみ)。

■WX-151CPの操作

1 HOME スイッチを押します。

HOME画面が表示されます。

2 AUDIO にタッチします。

現在のオーディオ画面が表示されます。

3 オーディオモード切りかえキーの、希望のオーディオモードにタッチします。

① オーディオモード切りかえキー

選んだオーディオモードに切りかわります。

■WX-151Cの操作

HOME画面でオーディオモードを選ぶ

1 HOME スイッチを押します。

HOME画面が表示されます。

2 希望のオーディオモードにタッチします。

オーディオ画面が表示されます。

オーディオ画面でオーディオモードを選ぶ

1 オーディオモード切りかえキーの、希望のオーディオモードにタッチします。

① オーディオモード切りかえキー

選んだオーディオモードに切りかわります。

オーディオモードをOFFにする

オーディオモードをOFFにして、音声出力を停止します。

1 「ロータリーエンコーダー(POWER/■DISP OFF)」を押します。

オーディオモードがOFFになり、AUDIO OFFインジケーターが点灯します。

① AUDIO OFFインジケーター

2 AUDIO OFFモードを解除するには、再度「ロータリーエンコーダー(POWER/■DISP OFF)」を押します。

- 他のオーディオモードに切りかえる、ディスクを挿入する、USB機器を接続しても、AUDIO OFFモードは解除されます。

ディスプレイをOFFにする

画面のみ消すことができます。

1 「ロータリーエンコーダー(POWER/■DISP OFF)」を2秒以上押します。

ディスプレイがOFFになります。

2 ディスプレイOFFモードを解除するには、「ロータリーエンコーダー(POWER/■DISP OFF)」を押します。

- WX-151CPのみ:ディスプレイOFFモード時に電話の着信があった場合は、通話終了後、ディスプレイOFFに戻ります。

昼画面と夜画面を切りかえる

本機の昼画面/夜画面の切りかえはスモールランプの消灯/点灯に連動しますが、手動で切りかえることもできます。

1 HOME スイッチを押します。

HOME画面が表示されます。

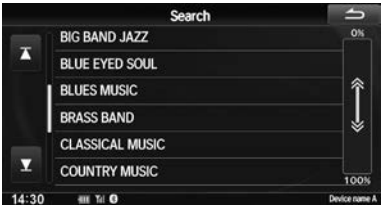
2 にタッチします。

昼画面と夜画面が切りかわります。

リスト画面の操作

リストをスクロールする

1 または にタッチします。

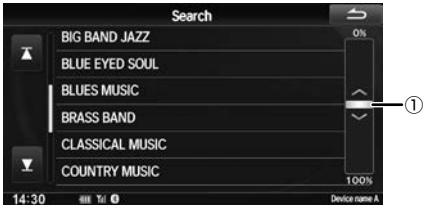


1画面ずつ上下にスクロールします。

パーセントサーチ機能

本機には、より効率良く検索する為に、パーセントサーチ機能が用意されています。各サーチモード時に利用することで、探したい曲などを素早く探し出すことができます。

1 サーチ画面のサーチバーの任意の場所にタッチします。またはサーチバーにタッチしたまま上下に動かします。



① サーチバー

タッチ、またはスライドした場所のリストを表示します。

例)曲名サーチの場合

曲数が100曲あるとします。探したい曲が50曲目位にあると予想した時は、サーチバーの50%の位置にタッチする、またはサーチバーを50%の位置まで動かすと、50曲目前後のリストが表示されます。

一時的に映像画面の時計表示を消す

ワンセグなどの映像モード画面の時計を、一時的に非表示にすることができます。

1 時計表示部分にタッチします。

時計表示が一時的にOFFになります。

2 時計を表示するには、表示位置部分に再度タッチします。

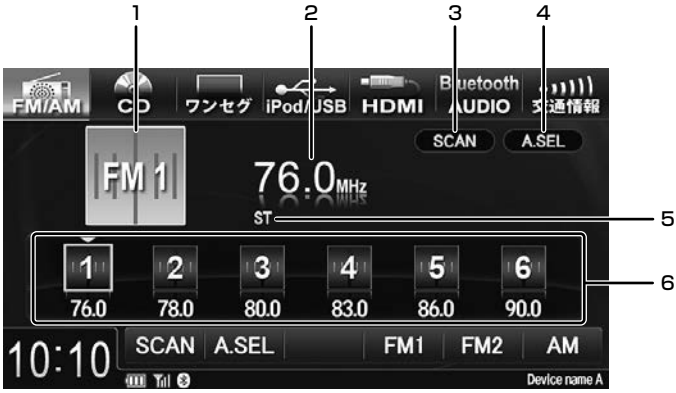
時計表示がONになります。

- 時計表示をOFFのままにするには、「映像画面で時計を表示する」(82ページ)を「しない」に設定します。

ラジオ

■ラジオ操作 28
ラジオを聴く 28
バンドを切りかえる 28
手動で放送局を選ぶ 28
自動で放送局を選ぶ 29
放送局を記憶する（プリセット） 29
プリセットキーから放送局を選ぶ 29
放送局をスキャンする 29
■交通情報を受信する 30

ラジオ操作



1 バンド表示
2 周波数表示
3 SCANインジケーター
スキャン時に表示されます。
4 A.SELインジケーター
オートセレクト時に表示されます。
5 STインジケーター
ステレオ放送受信時に表示されます。
6 プリセットキー
プリセットされた放送局の周波数が表示されます。

ラジオを聴く

■WX-151CPの操作

1 HOME スイッチを押します。

2 AUDIO にタッチします。
現在のオーディオ画面が表示されます。

3 オーディオモード切りかえキーの FM/AM にタッチします。
ラジオ画面が表示され、ラジオ放送を受信します。

■WX-151Cの操作

1 HOME スイッチを押します。

2 FM/AM にタッチします。
ラジオ画面が表示され、ラジオ放送を受信します。
またはオーディオモード画面から切りかえます。
1) オーディオモード画面でオーディオモード切りかえキーの FM/AM にタッチします。

バンドを切りかえる

1 ラジオ画面で FM1 または FM2 または AM にタッチします。
タッチしたバンドに切りかわります。

手動で放送局を選ぶ

1 ⏮ または ⏭ スイッチを押します。
1段階ずつ周波数が切りかわります。

自動で放送局を選ぶ

1 ⏮ または ⏭ スイッチを0.5秒以上押します。

受信可能な放送局を自動的に受信します。

- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。
- 途中で中止するには ⏮ または ⏭ スイッチを押します。

放送局を記憶する(プリセット)

マニュアルモード

1 記憶させたい放送局に周波数を合わせます。

2 記憶させたいプリセットキーに操作音がするまでタッチし続けます。

タッチしたプリセットキーに放送局が記憶されます。

- すでに記憶されているプリセットキーに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。
- AM、FM1、FM2それぞれ6局まで記憶させることができます。

オートセレクトモード

オートセレクトモードに自動選局した放送局を記憶します。ここで記憶した放送局は、プリセットモードをオートセレクトモードに切りかえた場合に呼び出すことができます(「プリセットモードを切りかえる」29ページ参照)。

1 ラジオ画面で A.SEL に2秒以上タッチします。

A.SELインジケーターが点滅し、自動的に選局を始めます。自動選局が終了すると、プリセットキーに記憶されます。

- オートセレクト起動中にもう一度 A.SEL に2秒以上タッチすると、オートセレクトは解除されます。
- 受信電波の弱い地域ではオートセレクトでの自動受信ができないことがあります。受信できなかった場合は、オートセレクト前の状態に戻ります。
- 同じ放送局からの受信でも、手動で記憶した周波数とオートセレクトで記憶した周波数は一致しないことがあります。
- オートセレクトを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信感度のよい放送局を周波数の低い順に、AMは6局、FMは12局(感度のよい順にFM1·6局、FM2·6局)まで自動的に記憶します。

プリセットキーから放送局を選ぶ

マニュアルモードまたはオートセレクトモードで記憶(プリセット)した放送局を受信します。モードの切りかえ方法は次項目「プリセットモードを切りかえる」を参照してください。

1 ラジオ画面でプリセットキーにタッチします。

選んだ放送局を受信します。

プリセットモードを切りかえる

プリセットモードには、マニュアルモードとオートセレクトモードの2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

ふだんお聴きになる放送局を手動で記憶しておけば(マニュアルモード)、旅先などでオートセレクト機能を使用してプリセットしても(オートセレクトモード)、帰宅後にマニュアルモードに切りかえて、手動でプリセットした放送局を呼び出すことができます。

1 ラジオ画面で A.SEL にタッチします。

プリセットモードがオートセレクトモードに切りかわり、A.SELインジケーターが表示されます。

- オートセレクトモードを解除するには、再度 A.SEL にタッチします。A.SELインジケーターが消灯し、マニュアルモードに切りかわります。

放送局をスキャンする

放送局を10秒ずつ聴いて、聴きたい放送局を探すことができます。

1 ラジオ画面で SCAN にタッチします。

受信可能な放送局を10秒ずつ受信します。

2 聞きたい放送局が見つかったら再度 SCAN にタッチします。

- 受信電波の弱い地域では、スキャンできないことがあります。その場合はスキャン前の状態に戻ります。

交通情報を受信する

1 HOME スイッチを押します。

2 交通情報 にタッチします。

あらかじめセットされているAM放送の1620kHz(プリセット1)の交通情報を受信します。

1629kHzで交通情報を行っている地域では、1629kHz(プリセット2)にタッチして周波数を変更してください。

オーディオモード画面から交通情報を受信することもできます。

1) オーディオモード画面でオーディオモード切りかえキーの 交通情報 にタッチします。

ワンセグ

■ワンセグ操作 32
ワンセグを表示する 32
チャンネルを自動で記憶する(オートプリセット) 33
プリセットしたチャンネルを呼び出す 33
プリセットしたチャンネルを切りかえる 33
自動で放送局を選ぶ 33
チャンネルを手動で記憶する(プリセット) 33
ホームモード/お出かけモードを切りかえる 34
音声を切りかえる 34
サービスを切りかえる 34
番組情報をスクロール表示する 34

ワンセグ操作

1 副音声インジケーター
副音声設定時に表示されます。

2 チャンネル番号表示

3 受信状態表示

4 サーチ中インジケーター
オートプリセット中に表示されます。

5 ホーム/お出かけインジケーター
ホームモード時には「ホーム」インジケーター、お出かけモード時には「お出かけ」インジケーターが表示されます。

6 放送局名/番組情報表示

7 プリセットキー

ワンセグ放送受信状態について

- 本機の受信エリアは、固定受信(家庭用受信機)に比べて狭くなる場合があります。
- 受信状態が悪い場合、映像および音声が出力されない場合があります。
- 高速走行時は受信状態が悪くなる場合があります。

• 安全上の配慮から、停車しているときにだけ地上デジタルテレビ(ワンセグ)をご覧になれます。走行中は、映像は映らずに音声だけが聴こえます。

ワンセグを表示する

ワンセグを受信します。

- ワンセグ画面の画質を調整することができます(「画質調整」80ページ参照)。

■WX-151CPの操作

1 HOME スイッチを押します。

2 AUDIO にタッチします。
現在のオーディオモード画面が表示されます。

3 オーディオモード切りかえキーの ワンセグ にタッチします。
ワンセグ画面が表示されます。

■WX-151Cの操作

1 HOME スイッチを押します。

2 ワンセグ にタッチします。
ワンセグ画面が表示されます。
またはオーディオモード画面から切りかえます。

1) オーディオモード画面でオーディオモード切りかえキーの ワンセグ にタッチします。

操作画面を表示する

1 **ワンセグ画面にタッチします。**

操作画面が表示されます。

しばらく(約5秒)操作しない場合は、元の画面に戻ります。または 全画面表示 にタッチすることでも操作画面が消えます。

チャンネルを自動で記憶する(オートプリセット)

受信できるチャンネルを自動的に記憶します。

1 **ワンセグ画面で オートプリセット にタッチします。**

「サーチ中」インジケーターが点灯し、チャンネルサーチが実行されます。

サーチしたチャンネルは現在受信中のモード(ホームモードまたはお出かけモード)のプリセット番号に自動的に記憶されます。

- チャンネルサーチはしばらく時間がかかります。サーチが終了するまでしばらくお待ちください。
- サーチしたチャンネルは、放送波によりあらかじめ指定されたプリセット番号へ登録されるため、登録されないプリセット番号がある場合があります。
- 同じプリセット番号に複数のチャンネルがある場合、受信感度のよいチャンネルを登録します。
- サーチを中断するには オートプリセット にタッチします。中断すると、サーチ開始前のチャンネルを受信します。
- 「ホーム」モード、「お出かけ」モード、それぞれに12局ずつプリセットすることができます。
- 同じ地域で登録を行っても、受信状況により登録されるチャンネルが異なることがあります。
- すでに登録されているチャンネルがある場合は、新しく登録した内容に書きかえられます。

プリセットしたチャンネルを呼び出す

あらかじめ記憶(プリセット)されているチャンネルを受信します。

1 **ワンセグ画面で、受信したいチャンネルのプリセット番号にタッチします。**

選んだチャンネルが受信されます。

プリセットしたチャンネルを切りかえる

プリセット番号順にチャンネルを切りかえます。

1 **⏮ または ⏭ スイッチを押します。**

⏮:プリセット番号が1つずつダウンします。

⏭:プリセット番号が1つずつアップします。

- チャンネルが登録されていないプリセット番号はスキップします。

自動で放送局を選ぶ

1 **⏮ または ⏭ スイッチを0.5秒以上押します。**

受信可能な放送局を自動的に受信します。

- 途中で中止するには ⏮ または ⏭ スイッチを押します。

チャンネルを手動で記憶する(プリセット)

1 **記憶したいチャンネルを受信します。**

2 **記憶させたいプリセットキーに2秒以上タッチし続けます。**

チャンネルがタッチしたプリセットキーに記憶されます。

- 「ホーム」モード、「お出かけ」モード、それぞれに12局ずつプリセットすることができます。
- すでに登録されているチャンネルがある場合は、新しく登録した内容に書きかえられます。

ホームモード/お出かけモードを切りかえる

1 **ワンセグ画面で [ホーム/お出かけ] にタッチします。**

タッチするごとにモードが切りかわり、「ホーム」または「お出かけ」インジケーターが表示されます。

「ホーム」モード ↔ 「お出かけ」モード

「ホーム」モード:

お住まいの地域のチャンネル設定モードです。

「お出かけ」モード:

お出かけした際に、その地域のチャンネルを記憶するのに利用します。

音声を切りかえる

視聴中の番組に音声多重放送がある場合の音声の切りかえを行うことができます。

1 **ワンセグ画面で [音声切替] にタッチします。**

音声多重放送の主音声/副音声を切りかえます。副音声時は「副音声」インジケーターが表示されます。

サービスを切りかえる

1つのチャンネルで複数の番組を放映しているマルチ編成番組受信中は、下記の操作で番組を切りかえることができます。

1 **ワンセグ画面で、現在選択されているチャンネルのプリセット番号にタッチします。**

<切りかえ例>

ワンセグ放送1 → ワンセグ放送2 → ワンセグ放送1

番組情報をスクロール表示する

番組情報が表示しきれない場合、スクロールして表示することができます。

1 **ワンセグ画面で、番組情報表示部にタッチします。**

① 番組情報表示部

番組情報がスクロールして表示されます。

- 全ての文字が表示されている場合はスクロールを行いません。

CD/MP3/WMA

■CD/MP3/WMA操作 36
CDの出し入れ 37
再生する 37
聴きたい曲を選ぶ 38
早送り・早戻しする 38
繰り返し聴く（リピート） 38
曲順を変えて聴く（ランダム） 38
曲のイントロだけを聴く（スキャン） 39
曲名/アーティスト名/アルバム名をスクロール表示する 39
■聴きたい曲を探す 40
トラックリストサーチ（CD） 40
フォルダを選ぶ（MP3/WMA） 40
ファイルサーチ（MP3/WMA） 40

CD/MP3/WMA操作

■ CD画面表示例

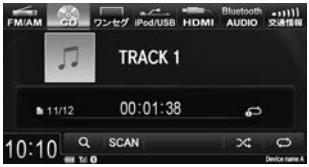
■ MP3/WMA画面表示例

1 トラックNo./総曲数

2 曲名/アーティスト名/アルバム名表示

- テキストデータがないCDはトラックNo.、タグ情報がないMP3/WMAは「No TITLE」と表示されます。

<テキストデータなしCD表示例>



3 演奏経過時間表示

4 再生状態インジケーター

リピート/ランダム/スキャンインジケーターが表示されます。

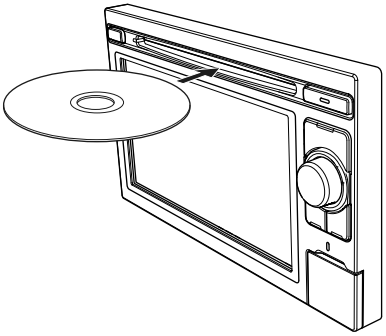
CDの出し入れ

- **CD が取り出せないとき(噛み込みなど)は、⏏ スイッチを2 秒以上押してください。ディスクが押し出されます。**
- **ディスクを挿入する前に必ずディスクが入っていないことを確認してください。**

CDを入れる

1 レーベル面を上にしてCD挿入口にディスクを挿入します。

途中まで挿入すると、ディスクが自動的に引き込まれます。



ディスクが挿入されると自動的に再生が始まります。

CDを取り出す

1 ⏏ スイッチを押します。

ディスクが排出されます。

2 ディスクを取り出します。

ディスクは必ず取り出してください。

再生する

CDやMP3/WMAデータが記録されたディスクを内蔵プレーヤーに挿入して、音楽を聴きます。

- オーディオデータ(CD-DA)とMP3/WMAデータ混在ディスク使用時は、オーディオデータを再生するか、MP3/WMAを再生するか設定することができます。(「ディスク再生データの設定」81ページ参照)。

1 ディスクを本機に挿入します。

自動的に再生が始まります。

- 音楽データ(CD-DA)とMP3/WMAデータを再生することができます。
- 本機で再生できるMP3/WMAは、ISO9660 level1またはlevel2フォーマットで記録されたディスクのみです。詳しくは、「本機対応の圧縮フォーマットについて」(89ページ)を参照してください。
- MP3/WMAのディスクは、再生が始まるまで時間がかかる場合があります。
- CDが取り出せないとき(噛み込みなど)は、⏏ スイッチを2秒以上押してください。ディスクが押し出されます。
- DRM(著作権管理Digital Rights Management)システムのファイルは再生できません。

- **ディスクを出し入れするときは、セレクトレバーなどにぶつからないように注意してください。**
- **レーベル面を上にして挿入してください。**
- **ディスクを挿入するとき、ディスプレイなどに接触しないように注意してください。**

すでにディスクが入っている場合は、下記操作を行います。

■WX-151CPの操作

1 HOME スイッチを押します。

2 AUDIO にタッチします。

現在のオーディオモード画面が表示されます。

3 オーディオモード切りかえキーの CD にタッチします。

再生が始まります。

■WX-151Cの操作

1 HOME スイッチを押します。

2 CD にタッチします。

再生が始まります。

またはオーディオモード画面から切りかえます。

1）オーディオモード画面でオーディオモード切りかえキーの CD にタッチします。

聴きたい曲を選ぶ

聴きたい曲の頭出しをします。

1 ⏮ または ⏭ スイッチを押し、聴きたい曲を選びます。

⏮:再生している曲の頭に戻ります。続けて押すと前の曲の頭出しをします。

⏭:次の曲に進みます。

早送り・早戻しする

再生中の曲を早送り、または早戻しすることができます。

1 ⏮ または ⏭ スイッチを0.5秒以上押し続けます。

スイッチから指を離すまで早送り(早戻し)します。

⏮:早戻しします。

⏭:早送りします。

- 先頭曲の頭まで早戻しすると、早戻しが解除され、通常再生に戻ります。

繰り返し聴く(リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し聴くことができます。

1 CD画面で、再生中に 🔁 にタッチします。

再生中の曲が繰り返し再生されます。

タッチするたびに、リピートモードが切りかわります。また、リピートインジケーターが表示されます。

CD:

🔁(REPEAT ONE) → (REPEAT OFF) → 🔁(REPEAT ONE)

MP3/WMA:

🔁(REPEAT ONE) → 🔁(REPEAT FOLDER) → (REPEAT OFF) → 🔁(REPEAT ONE)

🔁(REPEAT ONE):1曲のみを繰り返し演奏します。

🔁(REPEAT FOLDER):フォルダ内の曲のみを対象に繰り返し演奏します。

2 解除するには、リピートモードがOFFになるまで 🔁 にタッチします。

- スキャンまたはランダム演奏中にリピートモードにすると、スキャン/ランダムモードは解除されます。

曲順を変えて聴く(ランダム)

再生中のディスクの曲を順不同に聴くことができます。

1 CD画面で 🔀 にタッチします。

タッチするたびに、ランダムモードが切りかわります。また、ランダムインジケーターが表示されます。

CD:

🔀(RANDOM ALL) → (RANDOM OFF) → 🔀(RANDOM ALL)

MP3/WMA:

(RANDOM FOLDER) → 🔀(RANDOM ALL) → (RANDOM OFF) → (RANDOM FOLDER)

🔀(RANDOM ALL):ディスク内の曲を順不同に演奏します。

(RANDOM FOLDER):フォルダ内のみを対象に順不同に演奏します。

2 解除するには、ランダムモードがOFFになるまで 🔀 にタッチします。

- すべての曲の再生が終了しても、ランダム再生が解除されるまでランダム再生を継続します。
- ランダム再生中は ⏮ スイッチを押して前の曲を選ぶことはできません。
- ランダム再生中は、現在再生している曲の頭まで早戻しすると再生に戻ります。
- スキャンまたはリピート演奏中にランダムモードにすると、スキャン/リピートモードは解除されます。

曲のイントロだけを聴く(スキャン)

再生中のディスクの曲のイントロ部分だけを聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

1 CD画面で SCAN にタッチします。

曲のイントロ部分が約10秒間ずつ再生されます。

タッチするたびに、スキャンモードが切りかわります。また、SCANインジケーターが表示されます。

CD:

SCAN ALL → (SCAN OFF) → SCAN ALL

MP3/WMA:

SCAN FOLDER → SCAN ALL → (SCAN OFF) → SCAN FOLDER

SCAN ALL:CDはディスク内の曲、MP3/WMAデータはフォルダ内の曲のイントロ部分が約10秒間ずつ再生されます。

SCAN FOLDER:全フォルダの最初の曲のイントロ部分が約10秒間ずつ再生されます。

2 聴きたい曲が見つかったら、⏮スイッチを押します。

その曲の頭から再生します。

- ランダムまたはリピート演奏中にスキャンモードにすると、ランダム/リピートモードは解除されます。

曲名/アーティスト名/アルバム名をスクロール表示する

曲情報(曲名/アーティスト名/アルバム名)が表示しきれない場合、スクロールして表示することができます。

1 CD画面で曲情報表示部にタッチします。

① **曲情報表示部**

曲情報がスクロールして表示されます。

- 全ての文字が表示されている場合はスクロールを行いません。

聴きたい曲を探す

聴きたい曲を探します。また、現在再生している前後のフォルダを選ぶことができます。

トラックリストサーチ(CD)

CDテキストから曲(トラック)を検索し、再生することができます。テキスト未対応のディスクの場合は、トラックNo.から検索できます。

1 CD画面で (サーチ)にタッチします。

トラックリスト画面が表示されます。

2 希望の曲(トラック)にタッチします。

選択したトラックが再生されます。

- パーセントサーチ機能を使用して効率よく検索することができます。「パーセントサーチ機能」(26ページ)を参照してください。

フォルダを選ぶ(MP3/WMA)

MP3/WMAで記録されたディスクは、フォルダ単位で選ぶことができます。

1 CD画面で または にタッチし、前後のフォルダを選びます。

:前のフォルダの最初のファイルから再生します。

:次のフォルダの最初のファイルから再生します。

- ルートフォルダも一つのフォルダとして認識します。
- ファイル/フォルダの再生順については、「MP3/WMAファイル、フォルダの演奏順について(ディスク)」(92ページ)を参照してください。
- フォルダが1つしかない場合、最初の曲の再生を開始します。

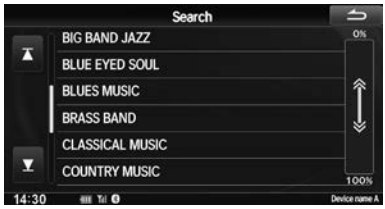
ファイルサーチ(MP3/WMA)

フォルダ名/ファイル名をリスト表示して選択することができます。

1 CD画面で (サーチ)にタッチします。

フォルダサーチ画面が表示されます。

2 希望のフォルダにタッチします。



ファイルリスト画面が表示されます。

3 希望のファイルにタッチします。

選択したファイルが再生されます。

- パーセントサーチ機能を使用して効率よく検索することができます。「パーセントサーチ機能」(26ページ)を参照してください。

iPod/iPhone

■基本操作 42
再生する 42
聴きたい曲を選ぶ 43
早送り・早戻しする 43
繰り返し再生する（リピート） 43
曲順を変えて聴く（シャッフル） 43
全ての曲をシャッフル再生する 44
曲名/アーティスト名/アルバム名をスクロール表示する 44
■聴きたい曲を探す 45
聴きたいファイルを探す 45
カテゴリーアップ/ダウン機能 46

基本操作

iPod/iPhoneをiPod/iPhoneに付属のUSBケーブルを使用して本機に接続すると、本機から操作することができます。

- iPod/iPhoneの接続方法については、「iPod/iPhoneの接続」(20ページ)を参照してください。
- iPhone連携(75ページ)時はUSB接続のiPod/iPhone、HDMI対応機器、BLUETOOTH AUDIOの各モードに切りかえることができないため、本章の操作を行うことはできません。
- iPod/iPhoneによっては、本機と接続中はiPhoneのiPod機能とiPodは、iPod/iPhoneからの操作ができなくなります。
- 本機対応iPod/iPhoneについては、「iPod/iPhoneについてのご注意」(8ページ)を参照してください。
- 本機はiPod/iPhoneのビデオ再生機能には対応しておりません。

1 アートワーク表示

2 トラックNo./現在の再生リストの総ファイル数

3 曲名/アーティスト名/アルバム名表示
Podcast再生時は、エピソード名/放送日/Podcast名が表示されます。

4 再生経過時間表示

5 再生状態インジケーター
リピート/シャッフルインジケーターが表示されます。

再生する

iPod/iPhoneに収録されている音楽を聴きます。

■WX-151CPの操作

1 HOME スイッチを押します。

2 AUDIO にタッチします。
現在のオーディオモード画面が表示されます。

3 オーディオモード切りかえキーの iPod/USB にタッチします。
再生が始まります。

■WX-151Cの操作

1 HOME スイッチを押します。

2 iPod/USB にタッチします。
再生が始まります。
またはオーディオモード画面から切りかえます。

1) オーディオモード画面でオーディオモード切りかえキーの iPod/USB にタッチします。

- ミュージックファイル再生中のiPod/iPhoneを本機と接続すると、今まで再生していたファイルの続きから再生を行います。
- iPod/iPhone再生中に他のオーディオモードに切りかえると、iPod/iPhoneは一時停止状態になります。

聴きたい曲を選ぶ

ファイルの頭出しをします。

1 ⏮ または ⏭ スイッチを押し、聴きたいファイルを選びます。

⏮:再生しているファイルの頭、または前のファイルの頭出しをします。

⏭:次のファイルに進みます。

早送り・早戻しする

再生中のファイルを早送り、または早戻しすることができます。

1 ⏮ または ⏭ スイッチを0.5秒以上押し続けます。

⏮:早戻しします。

⏭:早送りします。

- 曲の頭まで早戻しすると早戻しが解除され、通常再生に戻ります。
- 曲の最後まで早送りすると早送りが解除され、通常再生に戻ります。
- 接続するiPod/iPhoneによって動作が異なります。

繰り返し再生する(リピート)

1 iPod画面で、再生中に 🔁 にタッチします。

再生中の曲が繰り返し再生され、リピートインジケーターが表示されます。

(REPEAT ONE):1曲のみを繰り返し再生します。

2 解除するには、もう一度 🔁 にタッチします。

曲順を変えて聴く(シャッフル)

曲を順不同に聴くことができます。

1 iPod画面で 🔀 にタッチします。

現在再生しているリスト内の曲が順不同に再生されます。

タッチするたびに、シャッフルモードが切りかわります。また、シャッフルインジケーターが表示されます。

(SHUFFLE ALBUM) → (SHUFFLE SONG) →(SHUFFLE OFF)→ (SHUFFLE ALBUM)

(SHUFFLE ALBUM):サーチモードで曲を選択した場合、選択したモード内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番どおりに再生します。

(SHUFFLE SONG):サーチモードで曲を選択した場合、選択したモード内のすべての曲を順不同に再生します。

2 解除するには、シャッフルモードがOFFになるまで 🔀 にタッチします。

- 本機のSHUFFLE ALBUM、SHUFFLE SONGは、iPod/iPhoneのシャッフル·アルバム、シャッフル·曲と同じ動作になります。
- Podcast再生時は、シャッフル操作を行うことはできません。シャッフルモード中にPodcastが選択された場合は、シャッフルインジケーターは表示されたままとなり、次にPodcast以外のファイルが再生された時にシャッフルモードに切りかわります。

全ての曲をシャッフル再生する

iPod/iPhone内全てのファイルをシャッフル再生します。

1 iPod画面で にタッチします。

順不同にファイルが再生され、シャッフルALLインジケーターが表示されます。

(SHUFFLE ALL):iPod/iPhone内全てのファイルをシャッフル再生します。

2 解除するには、もう一度 にタッチします。

- Podcast再生時は、シャッフル操作を行うことはできません。シャッフルモード中にPodcastが選択された場合は、シャッフルインジケーターは表示されたままとなり、次にPodcast以外のファイルが再生された時にシャッフルモードに切りかわります。

曲名/アーティスト名/アルバム名をスクロール表示する

曲情報(曲名/アーティスト名/アルバム名)が表示しきれない場合、スクロールして表示することができます。

1 iPod画面で曲情報表示部にタッチします。

① 曲情報表示部

曲情報がスクロールして表示されます。

- 全ての文字が表示されている場合はスクロールを行いません。

聴きたい曲を探す

音楽ファイル再生時、アーティストやアルバムなどをリスト表示から選択することができます。

検索には大きく7つのサーチモードがあります。それぞれのサーチモードには階層があってより絞り込んだ検索を行うことができます。

■ サーチモード階層

第1階層	第2階層	第3階層	第4階層
曲	–	–	–
アルバム	曲	–	–
アーティスト	アルバム	曲	–
Podcast	エピソード	–	–
ジャンル	アーティスト	アルバム	曲
プレイリスト	曲	–	–
作曲者	アルバム	曲	–

ここでは、アーティストサーチを例に説明します。ほかのサーチモードの場合でも、検索できる階層は異なりますが、同様の操作で検索ができます。

聴きたいファイルを探す

1 iPod画面で （サーチ）にタッチします。

Search画面が表示されます。

2 アーティスト にタッチします。

アーティストサーチモードになり、アーティスト名がリスト表示されます。

3 希望のアーティストにタッチします。

選択したアーティストのアルバムサーチモードになり、アルバム名がリスト表示されます。

▶ にタッチすると、選んだアーティストの全ての曲を再生します。

4 希望のアルバムにタッチします。

選択したアルバムのソングサーチモードになり、曲名がリスト表示されます。

▶ にタッチすると、選んだアルバムの全ての曲を再生します。

5 希望の曲にタッチします。

選択した曲が再生されます。

- パーセントサーチ機能を使用して効率よく検索することができます。「パーセントサーチ機能」（26ページ）を参照してください。

カテゴリーアップ/ダウン機能

例えばサーチモードでアルバムを選択して決定すると、そのアルバムを繰り返し再生します。その場合カテゴリーアップ/ ダウン機能を使用すると、簡単に別のアルバムを選ぶことができます。

画面に表示されるタッチキーは、サーチモードで最後に決定したモードになります。

1 iPod画面でカテゴリーアップ/ダウンキーにタッチします。

① **カテゴリーアップ/ダウンキー**

■ カテゴリーアップ/ダウンキー種類

	アルバム
	アーティスト
	Podcast
	ジャンル
	プレイリスト
	作曲者

- サーチを行っていない、または曲名サーチを行った場合は、操作できません。
- アーティスト、ジャンル、作曲者サーチからアルバムを絞り込んで決定した場合は、アルバムが対象となります。

USBメモリー

■基本操作 48
再生する 49
オーディオモードとビデオモードを切りかえる 49
聴きたい曲/見たい映像を選ぶ 49
早送り・早戻しする 50
繰り返し再生する(リピート) 50
ランダムに再生する 50
曲のイントロだけを聴く(スキャン) 50
曲名/アーティスト名/アルバム名をスクロール表示する 51
■聴きたい曲・見たい映像を探す 52
フォルダを選ぶ 52
ファイルサーチ 52

基本操作

USBメモリーに記録された音楽データ(MP3/WMA/AAC)とビデオデータ(MP4/AVI/WMV)を本機で再生することができます。

- USBメモリーの接続方法については、「USBメモリーの接続」(21ページ)を参照してください。
- USBメモリー画面の画質を調整することができます(「画質調整」80ページ参照)。
- 本機で再生可能なデータについては、「本機対応の圧縮フォーマットについて」(89ページ)を参照してください。

■ オーディオモード画面表示例

■ ビデオモード画面表示例

1 アートワーク表示
2 トラックNo./総ファイル数
3 曲名/アーティスト名/アルバム名表示
• タグ情報が取得できない場合は「No TITLE」と表示されます。
4 再生経過時間表示
5 再生状態インジケーター
リピート/ランダム/スキャンインジケーターが表示されます。

ビデオファイル再生時のUSB操作画面への切りかえ方

1 USBメモリー再生画面で、画面にタッチします。

USBメモリー操作画面が表示されます。

• しばらく(約5秒)操作しないと、元の画面に戻ります。または 全画面表示 にタッチすることでも操作画面が消えます。

⚠ • 安全上の配慮から、停車しているときにだけUSBビデオをご覧になれます。走行中は、映像は映らずに音声だけが聴こえます。

再生する

USBメモリーに収録されているファイルを再生します。

■WX-151CPの操作

1 HOME スイッチを押します。

2 AUDIO にタッチします。

現在のオーディオモード画面が表示されます。

3 オーディオモード切りかえキーの iPod/USB にタッチします。

再生が始まります。

■WX-151Cの操作

1 HOME スイッチを押します。

2 iPod/USB にタッチします。

再生が始まります。

またはオーディオモード画面から切りかえます。

1) オーディオモード画面でオーディオモード切りかえキーの iPod/USB にタッチします。

オーディオモードとビデオモードを切りかえる

1 USBメモリー画面で VIDEO または AUDIO にタッチします。

オーディオモードがビデオモードに、またはビデオモードがオーディオモードに切りかわります。

• オーディオモード時には VIDEO、ビデオモード時には AUDIO が表示されます。

聴きたい曲/見たい映像を選ぶ

ファイルの頭出しをします。

1 ⏮ または ⏭ スイッチを押し、聴きたい曲や見たい映像を選びます。

⏮:再生しているファイルの頭に戻ります。続けて押すと前のファイルの頭出しをします。

⏭:次のファイルに進みます。

早送り・早戻しする

再生中のファイルを早送り、または早戻しすることができます。

1 ⏮ または ⏭ スイッチを0.5秒以上押し続けます。

スイッチから指を離すまで早送り(早戻し)します。

⏮:早戻しします。

⏭:早送りします。

- 先頭ファイルの頭まで早戻しすると、早戻しが解除され、通常再生に戻ります。

繰り返し再生する(リピート)

1 USBメモリー画面で、再生中に 🔁 にタッチします。

再生中のファイルが繰り返し再生されます。

タッチするたびに、リピートモードが切りかわります。また、リピートインジケーターが表示されます。

(REPEAT ONE) → (REPEAT FOLDER) → (REPEAT OFF) → (REPEAT ONE)

(REPEAT ONE):1つのファイルのみを繰り返し再生します。

(REPEAT FOLDER):フォルダ内のファイルを対象に繰り返し再生します。

2 解除するには、リピートモードがOFFになるまで 🔁 にタッチします。

- スキャンまたはランダム演奏中にリピートモードにすると、スキャン/ランダムモードは解除されます。

ランダムに再生する

音楽やビデオをランダムに再生することができます。

1 USBメモリー画面で 🔀 にタッチします。

現在再生しているリスト内の曲が順不同に再生されます。

タッチするたびに、ランダムモードが切りかわります。また、ランダムインジケーターが表示されます。

(RANDOM FOLDER) → (RANDOM ALL) → (RANDOM OFF) → (RANDOM FOLDER)

(RANDOM FOLDER):フォルダ内のみを対象に順不同に演奏します。

(RANDOM ALL):USBメモリー内の曲を順不同に演奏します。

2 解除するには、ランダムモードがOFFになるまで 🔀 にタッチします。

- すべての曲の再生が終了しても、ランダム再生が解除されるまでランダム再生を継続します。
- スキャンまたはリピート演奏中にランダムモードにすると、スキャン/リピートモードは解除されます。

曲のイントロだけを聴く(スキャン)

再生中のUSBメモリーの曲のイントロ部分だけを聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

1 USBメモリー画面で SCAN にタッチします。

曲のイントロ部分が約10 秒間ずつ再生されます。

タッチするたびに、スキャンモードが切りかわります。また、SCANインジケーターが表示されます。

SCAN FOLDER → SCAN ALL → (SCAN OFF) → SCAN FOLDER

SCAN FOLDER:全フォルダの最初の曲のイントロ部分が約10秒間ずつ再生されます。

SCAN ALL:フォルダ内の曲のイントロ部分が約10秒間ずつ再生されます。

2 解除するには、スキャンモードがOFFになるまで SCAN にタッチします。

- ランダムまたはリピート演奏中にスキャンモードにすると、ランダム/リピートモードは解除されます。

曲名/アーティスト名/アルバム名をスクロール表示する

曲情報(曲名/アーティスト名/アルバム名)が表示しきれない場合、スクロールして表示することができます。

1 USBメモリー画面で曲情報表示部にタッチします。

① 曲情報表示部

曲情報がスクロールして表示されます。

- 全ての文字が表示されている場合はスクロールを行いません。

聴きたい曲・見たい映像を探す

希望のファイルを探します。また、現在再生している前後のフォルダを選ぶことができます。
オーディオモード時はオーディオファイルを、ビデオモード時はビデオファイルを検索することができます。

フォルダを選ぶ

フォルダ単位でデータを選ぶことができます。

1 USBメモリー画面で ◀ ■ または ■ ▶ にタッチし、前後のフォルダを選びます。

◀ ■：前のフォルダの最初のファイルから再生します。

■ ▶：次のフォルダの最初のファイルから再生します。

- ルートフォルダも一つのフォルダとして認識します。
- フォルダが1つしかない場合、最初の曲の再生を開始します。

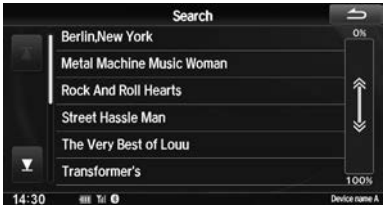
ファイルサーチ

フォルダ名/ファイル名をリスト表示して選択することができます。

1 USBメモリー画面で 🔍 (サーチ)にタッチします。

フォルダサーチ画面が表示されます。

2 希望のフォルダにタッチします。



ファイルリスト画面が表示されます。

3 希望のファイルにタッチします。

選択したファイルが再生されます。

- パーセントサーチ機能を使用して効率よく検索することができます。「パーセントサーチ機能」(26ページ)を参照してください。

WX-151CPのみ

HDMI

■HDMI対応機器の操作 54
HDMIモードにする 54

HDMI対応機器の操作

HDMI接続端子を持つスマートフォンやビデオカメラなどを本機に接続して、ビデオ·音楽·写真などを再生することができます。

- 接続方法については「HDMI機器の接続(WX-151CPのみ)」(21ページ)を参照してください。
- HDMI機器を接続しても映像·音楽·写真などが再生できないときやHDMI機器を認識しない場合は、一度HDMI機器を外して再接続してください。
- HDMI機器に映像·音声出力設定がある場合は、本機に接続する際に「オン」にしてください。オンにしないと、映像·音声を本機に出力することができません。
- iPhone連携(75ページ)時はUSB接続のiPod/iPhone、HDMI対応機器、BLUETOOTH AUDIOの各モードに切りかえることができないため、本章の操作を行うことはできません。
- HDMI画面の画質を調整することができます(「画質調整」80ページ参照)。

• 安全上の配慮から、停車しているときにだけHDMIの映像をご覧になれます。走行中は、映像は映らずに音声だけが聴こえます。

HDMIモードにする

1 HOME スイッチを押します。

2 AUDIO にタッチします。

現在のオーディオモード画面が表示されます。

3 オーディオモード切りかえキーの HDMI にタッチします。

HDMI画面が表示されます。

操作画面を表示する

1 HDMI画面にタッチします。

タッチキーが表示されます。

- しばらく(約5秒)操作しないと、元の画面に戻ります。または 全画面表示 にタッチすることでも操作画面が消えます。

WX-151CPのみ

BLUETOOTH AUDIO

■BLUETOOTH AUDIO操作 56
再生する 57
一時停止する 57
聴きたい曲を選ぶ 57
早送り・早戻しする 57
繰り返し再生する（リピート） 57
曲順を変えて再生する（ランダム） 57
グループを選ぶ 58
ファイルサーチ 58
曲名/アーティスト名/アルバム名をスクロール表示する 58

BLUETOOTH AUDIO操作

携帯電話などのBLUETOOTHオーディオ機器と本機をBLUETOOTHで接続すると、本機で曲を再生することができます。

初めてお使いになるときは、お使いのBLUETOOTHオーディオ機器を「携帯電話を接続する」(65ページ)の手順に従って登録してください。

- iPhone連携(75ページ)時はUSB接続のiPod/iPhone、HDMI対応機器、BLUETOOTH AUDIOの各モードに切りかえることができないため、本章の操作を行うことはできません。
- 本機にBLUETOOTH接続する前に、BLUETOOTHオーディオ機器のEQ機能を「オフ」に設定することをおすすめします。

- **お使いの携帯電話のAVRCPプロファイル(BLUETOOTH接続して音楽再生するためのプロファイル)のバージョンによって、再生画面に表示される内容や操作が異なります。**
- **BLUETOOTHオーディオ使用中にハンズフリー機能や電話帳転送機能を使用すると、一時的にBLUETOOTHオーディオ機能が停止したり、音切れやAVプロファイルが切断されたりする場合があります。**
- **AVRCP非対応(A2DPのみ)機種の場合、音声再生のみ行い、本機から操作することはできません。**

1 トラックNo./現在の再生リストの総ファイル数

2 曲名/アーティスト名/アルバム名表示
- 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。

3 再生経過時間表示

4 再生状態インジケーター
リピート/シャッフルインジケーターが表示されます。

再生する

BLUETOOTHオーディオ機器を接続して音楽を再生します。

1 HOME スイッチを押します。

2 AUDIO にタッチします。

現在のオーディオモード画面が表示されます。

3 オーディオモード切りかえキーの Bluetooth AUDIO にタッチします。

再生が始まります。

一時停止する

1 Bluetooth AUDIO画面で、再生中に ▶/II にタッチします。

再生中のファイルが一時停止します。

2 通常再生に戻すには、▶/II にタッチします。

聴きたい曲を選ぶ

ファイルの頭出しをします。

1 I◀◀ または ▶▶I スイッチを押し、聴きたいファイルを選びます。

I◀◀:再生しているファイルの頭に戻ります。続けて押すと前のファイルの頭出しをします。

▶▶I:次のファイルに進みます。

早送り・早戻しする

再生中のファイルを早送り、または早戻しすることができます。

1 I◀◀ または ▶▶I スイッチを0.5秒以上押し続けます。

I◀◀:早戻しします。

▶▶I:早送りします。

繰り返し再生する(リピート)

1 Bluetooth AUDIO画面で、再生中に 🔁 にタッチします。

再生中のファイルが繰り返し再生され、リピートインジケーターが表示されます。

🔂(REPEAT ONE):1つのファイルのみを繰り返し再生します。

2 解除するには、もう一度 🔁 にタッチします。

- 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。
- 操作は接続する機器によって異なる場合があります。

曲順を変えて再生する(ランダム)

曲をランダムに再生することができます。

1 Bluetooth AUDIO画面で、🔀 にタッチします。

現在再生しているリスト内の曲が順不同に再生され、ランダムインジケーターが表示されます。

🔀(RANDOM ALL):BLUETOOTHオーディオ機器内の曲を順不同に演奏します。

2 解除するには、もう一度 🔀 にタッチします。

- 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。
- 操作は接続する機器によって異なる場合があります。

グループを選ぶ

グループ単位でデータを選ぶことができます。

1 **Bluetooth AUDIO画面で ◀ GROUP または GROUP ▶ にタッチし、前後のグループを選びます。**

- 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。

ファイルサーチ

フォルダ名/ファイル名をリスト表示して選択することができます。

1 **Bluetooth AUDIO画面で 🔍 (サーチ)にタッチします。**

サーチ画面が表示されます。

2 **希望のフォルダまたはファイルにタッチします。**

選択したファイルが再生されます。

- パーセントサーチ機能を使用して効率よく検索することができます。「パーセントサーチ機能」(26ページ)を参照してください。
- 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。
- 操作は接続する機器によって異なる場合があります。

曲名/アーティスト名/アルバム名をスクロール表示する

曲情報(曲名/アーティスト名/アルバム名)が表示しきれない場合、スクロールして表示することができます。

1 **Bluetooth AUDIO画面で、曲情報表示部にタッチします。**

① 曲情報表示部

曲情報がスクロールして表示されます。

- 全ての文字が表示されている場合はスクロールを行いません。
- 接続するBLUETOOTH機器によっては対応していない場合があります。

リアカメラ

■ リアカメラ操作 60
後方の映像を映す 60
リアカメラ操作 60
リアカメラガイドの見かた 61

リアカメラ操作

リアカメラ標準装備車、または本機に別売のリアカメラを接続している場合、車のセレクトレバーをリバースに入れると本機の画面に自動で後方のカメラ映像およびガイド(車両の車幅や距離感覚を補う補助マーク)を映すことができます。

- リアカメラ画面の画質を調整することができます(「画質調整」80ページ参照)。

⚠

- **カメラは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。**
- **リアカメラで映し出す範囲は限られていますので、画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用しながら目視で確認し、後方および周囲の安全を十分確保してください。**
- **乗車人数・積載量により、車両が傾き画面のリアカメラガイドの示す位置と実際の路面上の距離・障害物との距離は変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。**

後方の映像を映す

1 車のセレクトレバーをリバースに入れます。

後方の映像が自動で画面に映し出されます。

2 車のセレクトレバーをリバース以外に入れます。

通常画面に戻ります。

リアカメラ操作

ビューを切りかえる(リアワイドカメラ接続時のみ)

リアワイドカメラ接続時、ビューを切りかえることができます。

1 カメラ映像表示中に 、 、 のいずれかにタッチします。

ビューが切りかわります。

: ワイドビュー

: ノーマルビュー

: トップダウンビュー

- トップダウンビューで終了した場合の次に表示するビューモードを設定することができます(「次回表示ビューモードを選択する(リアワイドカメラ接続時のみ)」83ページ)。

ガイド表示のON/OFF

1 カメラ映像表示中に画面にタッチします。

カメラ操作キーが表示されます。

- しばらく(約5秒)操作しないと操作キーが消えて元の画面に戻ります。

2 ガイドOFF にタッチします。

ガイド表示が消えます。

- 再びガイド表示ONにするには、**ガイドON** にタッチします。

コーション表示位置の調整

1 **カメラ映像表示中に画面にタッチします。**

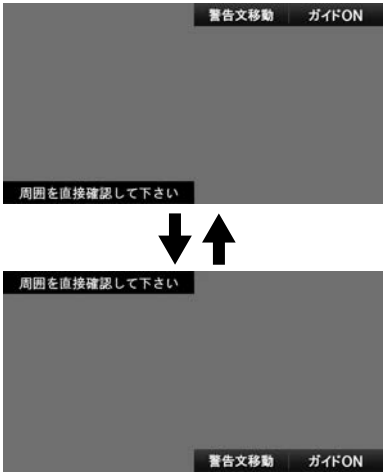
カメラ操作キーが表示されます。

- しばらく(約5秒)操作しないと操作キーが消えて元の画面に戻ります。

2 **警告文移動 にタッチします。**

警告文の表示位置が画面下部または画面上部に移動します。

<表示例>

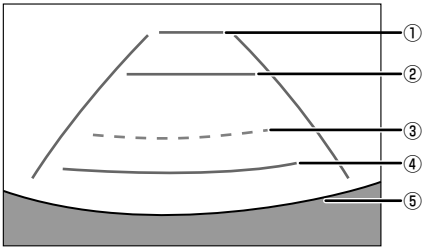


- 車種によっては警告文が画面下部にあると車両後端が見えなくなります。その場合は警告文を画面上部に移動してください。

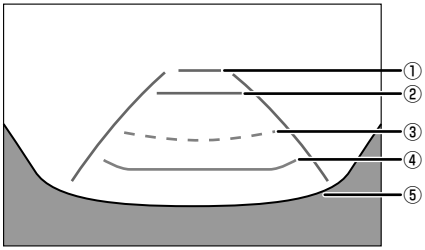
リアカメラガイドの見かた

ビューによってガイドの表示の仕方が異なります。

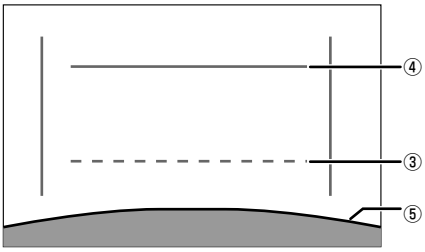
■ リアカメラ、リアワイドカメラ(ノーマルビュー)表示例



■ リアワイドカメラ(ワイドビュー)表示例



■ リアワイドカメラ(トップダウンビュー)表示例



① 約3m
② 約2m
③ テールゲート開閉可能ライン
④ 約0.5mまたは約1m※
⑤ バンパー
※ 車種により位置は異なります。

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- 後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。

- 車両によりガイドが左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。
- ガイドは路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映しだされた場合は実際の距離感とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - 暗いところ。（夜間など）
  - レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
  - カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。（雨天時など）
  - カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
  - 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
- ガイドは各Honda販売店で設定されます。
- ガイドの位置調整などについては、各Honda販売店にご相談ください。
- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- リアカメラの映像は鏡像です。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。
- 夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見えにくいことがあります。
- リアカメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化を招き、故障などの原因になります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で乾いた布などを使って強くこするとレンズカバーに傷が付くことがあります。

WX-151CPのみ

ハンズフリー電話を使う

■BLUETOOTH接続について 64

■携帯電話を接続する 65
- 携帯電話を本機に登録する 65
- 携帯電話の接続を解除する 66
- 接続するBLUETOOTH機器を変更する 66

■電話を受ける・切る 67
- 電話を受ける 67
- 電話を切る 67

■電話をかける 68
- 短縮ダイアルから電話をかける 68
- 直前にかけた電話番号に電話をかける 69
- 着信履歴から電話をかける 69
- 発信履歴から電話をかける 70
- 電話帳から電話をかける 70
- 番号を入力して電話をかける 71

■通話中の操作 72
- 通話音量を調整する 72
- 携帯電話の通話に切りかえる 72
- 一時的に送話音声を消す(ミュート) 72
- トーン発信機能 72

■電話設定 73
- パスコードを変更する 73
- 優先的に接続する携帯電話を設定する 73
- 自動着信を設定する 74
- 本機のBLUETOOTH情報を表示する 74

BLUETOOTH接続について

本機はBLUETOOTH(ブルートゥース)規格対応の携帯電話と無線で接続することができます。携帯電話と接続すると、本機のマイクやスピーカーを使ってドライブ中に手ぶらで通話ができます(ハンズフリー通話)。登録した携帯電話が音楽機能つきの場合は、携帯電話の音楽も再生できます(55ページ)。

- BLUETOOTHは、近距離にある機器間で無線でデータ交換を行うための世界標準規格です。
- NTTドコモ·au·ソフトバンクが提供するBLUETOOTH対応の携帯電話は本機と接続できますが、携帯電話の機種によって対応機能に差異があります。お使いの携帯電話と本機の適合については下記のホームページでご確認ください。
  http://www.honda.co.jp/navi/support/

• 交通量の多い市街地や狭い道でのご利用は避けてください。
• 安全のため、携帯電話を直接操作しないでください。運転中の携帯電話のご使用は法律で禁止されています。

本機で使用できるプロファイルについて

プロファイルは、BLUETOOTH通信の接続手順を機能ごとに標準化したもので、プロファイルが本機と携帯電話で一致していない機能は利用できません。お使いの携帯電話が本機の対応プロファイルと一致しているかどうか確認してください。

- HFP:ハンズフリー通話を行うためのプロファイル
- OPP/PBAP:電話帳のデータなどを送受信するためのプロファイル
- SYNC:各種データを自動的に同期するためのプロファイル
- SPP:仮想シリアルポートを用いて2台のデバイスを接続するプロファイル
- A2DP:音声データを送信するためのプロファイル
- AVRCP:ポータブルオーディオプレーヤーで音楽再生の操作を行うためのプロファイル

ハンズフリー電話について

BLUETOOTH対応の携帯電話を本機とBLUETOOTH接続することでハンズフリー通話ができます。ハンズフリー電話を使うと、本機から電話をかけたり受けたりすることができ、運転中でも携帯電話を持たないで通話することができます。また本機に携帯電話の電話帳を読み込んで電話をかけることもできます。

- 本機に接続した状態で携帯電話の電源をON/OFFしないでください。
- 本機に接続して携帯電話を充電することはできません。電池が切れそうな携帯電話は接続しないでください。
- 携帯電話は操作制限(キーロック等)を解除してから接続してください。
- 携帯電話側の自動応答設定がONとなっている場合、本機で「自動着信」を「しない」に設定しても、自動的に電話を受ける場合があります。
- 通話中は、大きめの声ではっきりとお話ください。
- 通話中は、窓を閉めてお話ください。
- 話し方によっては相手に声が伝わりにくい場合や、相手の声が聞こえにくい場合があります。
- ハンズフリー電話同士の通話、騒音の大きい場所での通話など、使用状況によっては話しにくい場合があります。
- 相手の電話の種類や電話回線の組み合わせにより、不自然な音声になる場合があります。
- 携帯電話の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。また、サービス契約が必要な場合もあります。
- 携帯電話をUSBモードに設定していると使用できない場合があります。設定を通信モードに変更してください。

携帯電話を接続する

初めてお使いになるときは、お使いの携帯電話を以下の手順に従って本機に登録してください。登録した携帯電話は、そのBLUETOOTH機能がONになっていれば、エンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)にするだけで本機と自動的に接続されます。

携帯電話を本機に登録する

携帯電話から本機を探して登録することができます。

1 HOME スイッチを押します。

2 電話 にタッチします。

電話画面が表示されます。

3 設定 にタッチします。

電話設定画面が表示されます。

4 Bluetooth機器登録 にタッチします。

Bluetooth機器登録画面が表示されます。

5 「未登録」の 登録 にタッチします。

6 携帯電話から探す にタッチします。

デバイス名とパスキーが表示され、携帯電話からの接続待機状態になります。

7 携帯電話のBLUETOOTH機能をオンにし、携帯電話で本機を検索します。

8 携帯電話にパスキーの入力画面が表示されたら、本機のパスキーを入力して登録します。

携帯電話によってはパスキーの入力が不要な機種もあります。

- 本機デバイス名の初期値は「Gathers」です。
- パスキーの初期値は「1212」です。
- BLUETOOTH 接続されると、画面下部にBLUETOOTHインジケーターが表示されます。
- パスキーの入力が不要な場合は、確認画面が表示されます。本機と携帯電話に表示されている数字が同じであることを確認して はい にタッチしてください。
- 携帯電話を置く場所によっては、障害物や電波の状態により音声にノイズがのったり、通信が中断される場合があります。このような場合は、携帯電話を本機の近くや障害物のない場所に置くようにしてください。
- 本機は携帯電話を3台まで登録しておくことができます。実際に接続できるのはその中の1台になります。使用する携帯電話の切りかえは、「接続するBLUETOOTH機器を変更する」(66ページ)を参照してください。

本機から携帯電話を探して登録する

本機から携帯電話を探して登録することもできます。携帯電話のBLUETOOTHメニューに「BLUETOOTH電源」の項目がある場合は、必ず「BLUETOOTH電源ON」の状態にしてください。

1 前ページ手順6で 携帯電話を探す にタッチします。

2 メッセージが表示されたら 探す にタッチします。

周囲のBLUETOOTH機器を探索し、検出した機器をリスト表示します。

3 接続する携帯電話名称にタッチします。

携帯電話側でパスキーの入力が必要な場合があります。携帯電話の画面の指示に従って操作してください。

- パスキーの入力が不要な場合は、確認画面が表示されます。本機と携帯電話に表示されている数字が同じであることを確認して はい にタッチしてください。

BLUETOOTH機器登録を削除する

本機に登録してあるBLUETOOTH携帯電話情報を削除します。すでに3台登録済みで新たな携帯電話を登録する場合は、不要な携帯電話情報を削除してください。

1 前ページ手順5のBluetooth機器登録画面で、削除したい携帯電話名称の 削除 にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

2 はい にタッチします。

携帯電話名称が削除され、「未登録」と表示されます。

携帯電話の接続を解除する

1 HOME スイッチを押した後、電話 にタッチします。

2 電話画面で 接続解除 にタッチします。

3 確認メッセージが表示されたら はい にタッチします。

BLUETOOTH接続が解除され、接続解除 が 再接続 に変わります。再度BLUETOOTH接続するには 再接続 にタッチします。

接続するBLUETOOTH機器を変更する

1 HOME スイッチを押した後、電話 にタッチします。

2 電話画面で 機器変更 にタッチします。

3 機器変更画面で、希望する機器名称にタッチします。

4 確認メッセージが表示されたら はい にタッチします。

選択したBLUETOOTH機器と接続します。

電話を受ける・切る

本機をハンズフリー電話として利用することができます。

電話を受ける

1 電話がかかってくると着信音が鳴り、着信画面が表示されます。

- 相手の電話番号が通知されてきたときに、相手の名前と電話番号が電話帳に登録されている場合は、着信画面に名前と電話番号が表示されます。

2 にタッチします。

通話が開始されます。

- 自動着信」設定を「する」に設定していると、にタッチしなくても着信後自動的に通話状態になります(「自動着信を設定する」74ページ参照)。
- 通話中は、オーディオ・テレビの音が一時的に消えます。
- 自動着信するかどうかを設定できます。(「自動着信を設定する」74ページ参照)。
- 本機起動直後は、相手の名前と電話番号を表示出来ない場合があります。
- 携帯電話の応答時間を設定している場合は、携帯電話の設定が優先されます。

すぐに電話に出られないとき

かかってきた電話にすぐに出られないときは、一時的に保留することができます。

1 電話の着信中に 保留 にタッチします。

かかってきた電話を保留にします。

2 電話に出られる状態になったら にタッチします。

保留が解除され、通話が開始されます。

- 応答保留中に にタッチすると、電話が切れます。
- 応答保留中に相手が電話を切ると、電話が切れます。
- 応答保留中でも、電話をかけてきた相手には通話料金がかかります。
- 接続する携帯電話によっては、動作が異なる場合があります。

着信音量を調整する

着信音の調整をすることができます。

1 着信中に「着信音量」の または にタッチして、音量を調整します。

音量は11段階で調整できます。

:音量が小さくなります。

:音量が大きくなります。

電話を切る

通話中の電話を終了します。

1 通話が終わったら にタッチします。

通話が終了します。

電話をかける

電話をかける操作は電話画面から行います。HOME スイッチを押した後、電話 にタッチしてください。

- 走行中は安全のため、短縮ダイアル、リダイアルからのみ電話をかけることができます。

短縮ダイアルから電話をかける

よくかける電話番号を短縮ダイアルに登録することができます。短縮ダイアルに登録すると、簡単に電話をかけることができます。

短縮ダイアルに登録する

着信/発信履歴、または電話帳を利用して短縮ダイアルに登録します。

1 **電話画面で 着信履歴、発信履歴、電話帳 のいずれかにタッチします。**

着信/発信履歴画面、または電話帳画面が表示されます。

2 **登録したい相手にタッチします。電話帳から選択している場合は、登録したい番号に続けてタッチします。**

詳細画面が表示されます。

3 **短縮登録 にタッチします。**

短縮登録画面が表示されます。

4 **短縮1 ～ 3いずれかの 登録 にタッチします。**

- すでに3件短縮ダイアルに登録されている場合と、すでに登録されている短縮ダイアルに別の番号を登録する場合は、登録解除する番号の 削除 にタッチしてから、登録操作を行ってください。

5 **確認画面が表示されたら はい にタッチします。**

続けて OK にタッチして操作を終了してください。

短縮ダイアルから電話をかける

1 **電話画面で 短縮1 ～ 短縮3 のいずれかにタッチします。**

短縮ダイアルに登録した名前と電話番号が表示されます。

2 **にタッチします。**

登録してある電話番号に電話をかけます。

直前にかけた電話番号に電話をかける

直前にかけた電話番号に電話をかけます。

1 **電話画面で リダイアル にタッチします。**

確認画面に名前と電話番号が表示されます。

2 **はい にタッチします。**

- 一度も発信していない場合は、リダイアル を利用することはできません。

着信履歴から電話をかける

以前かかってきた電話は、着信履歴として記憶されます。これらの履歴の一覧から相手を選択して電話をかけます。

1 **電話画面で 着信履歴 にタッチします。**

着信履歴画面が表示されます。

履歴に記憶されている電話番号が、新しいものから順に一覧で表示されます。

2 **電話をかけたい相手をタッチして選びます。**

① **名前または電話番号/電話がかかってきた日付・時刻**

3 **にタッチします。**

- リストには、最大10件の履歴が表示されます。10件を超えた場合は、古いものから順に削除されます。
- 電話がかかってきた相手の名前が電話帳に登録されている場合は、名前が履歴画面に表示されます。
- 着信履歴に記憶されている相手から電話がかかってきた場合、前回の履歴を消去して新しいものだけが表示されます。
- 着信履歴を削除したいときは、着信履歴画面で削除したい相手を選び、削除 にタッチします。
  全削除 にタッチすると、全ての着信履歴を削除することができます。

発信履歴から電話をかける

以前かけた電話は、発信履歴として記憶されます。これらの履歴の一覧から相手を選択して電話をかけます。

1 電話画面で 発信履歴 にタッチします。

発信履歴画面が表示されます。

履歴に記憶されている電話番号が、新しいものから順に一覧で表示されます。

2 電話をかけたい相手をタッチして選びます。

① 名前または電話番号/電話をかけた日付・時刻

3 にタッチします。

- リストには、最大10件の履歴が表示されます。10件を超えた場合は、古いものから順に削除されます。
- 電話をかけた相手の名前が電話帳に登録されている場合は、名前が履歴画面に表示されます。
- 発信履歴に記憶されている相手に電話をかけた場合、前回の履歴を消去して新しいものだけが表示されます。
- 発信履歴を削除したいときは、発信履歴画面で削除したい相手を選び、削除 にタッチします。
  全削除 にタッチすると、全ての発信履歴を削除することができます。

電話帳から電話をかける

携帯電話の電話帳を利用して電話をかけます。まず、携帯電話の電話帳を本機に読み込む必要があります。

電話帳を読み込む

1 電話画面で 電話帳 にタッチします。

電話帳画面が表示されます。

2 電話帳読込 にタッチします。

3 確認画面が表示されたら はい にタッチします。

電話帳読み込みを開始します。

- 読込キャンセル にタッチすると、読み込み中のデータを破棄して読み込みを中断します。

4 読み込みが完了すると、読み込んだ電話帳の画面が表示されます。

- 本機の電話帳に登録できる件数は、最大1000件です。
- 本機で認識できない文字は"・"表示になります。
- 携帯電話の電話帳に－(ハイフン)を付けて番号を登録してある場合は、－(ハイフン)無しの数字のみ登録されます。

電話帳から電話をかける

1 **電話画面で 電話帳 にタッチします。**

電話帳画面が表示されます。

2 **電話をかけたい相手をタッチして選びます。**

- タブ(「ア」「カ」「サ」など)にタッチすると、そのタブの文字のリストに画面が切りかわります。「英」のタブには、英語、数字、記号が表示されます。

3 **電話番号にタッチします。**

詳細画面が表示されます。

- 電話番号を削除したいときは、削除したい電話番号の 削除 にタッチします。

4 **にタッチします。**

電話帳を削除する

本機に読み込んだ電話帳を、1件または全件削除します。

1 **削除したい相手の 削除 にタッチします。電話帳を全て削除する場合は、全削除 にタッチします。**

確認のメッセージが表示されます。

2 **はい にタッチします。**

選んだ番号、または電話帳が全件削除されます。

番号を入力して電話をかける

相手の電話番号を入力して電話をかけます。

1 **電話画面で 番号入力 にタッチします。**

番号入力画面が表示されます。

2 **相手の市外局番から電話番号を入力します。**

- 数字にタッチして入力します。
- にタッチすると、入力した数字が1文字ずつ削除されます。

3 **にタッチします。**

通話中の操作

通話中は下記の通話画面が表示されます。

通話音量を調整する

受話音量や送話音量を調整することができます。

1 **通話中に「受話音量」、「送話音量」の ◀ または ▶ にタッチして、音量を調整します。**

音量は11段階で調整できます。

◀:音量が小さくなります。

▶:音量が大きくなります。

携帯電話の通話に切りかえる

本機のハンズフリー機能での通話から、携帯電話での通話に切りかえることができます。

1 **切替 にタッチします。**

携帯電話での通話に切りかわり、画面上部に「携帯電話に切換中」と表示されます。

2 **ハンズフリー通話に戻すには、再度 切替 にタッチします。**

- 携帯電話に切換中は、本機から電話操作をすることはできません。
- 発信中も本操作を行うことができます。

一時的に送話音声を消す(ミュート)

相手の音声は聞こえる状態のまま、自分の音声を相手に聞こえないようにすることができます。

1 **通話中に 送話ミュート にタッチします。**

通話相手に自分の声が聞こえなくなります。

2 **解除するには再度 送話ミュート にタッチします。**

トーン発信機能

音声ガイダンスなどに従って数字を入力する必要があるときなどに使用することができます。

1 **通話中に トーン にタッチします。**

トーン発信用の数字入力画面が表示されます。

2 **番号を入力します。**

3 **⮌ にタッチすると通話中画面に戻ります。**

電話設定

電話設定操作は電話画面から行います。HOME スイッチを押した後、電話 にタッチしてください。

- 「Bluetooth機器登録」については65ページを参照してください。

パスコードを変更する

携帯電話で入力する本機のパスコードを変更することができます(初期設定値は「1212」)。

1 **電話画面で 設定 にタッチします。**

設定画面が表示されます。

2 **パスコード変更 にタッチします。**

3 **◀x にタッチして変更したい数字を削除します。**

4 **4桁の数字を入力し、決定 にタッチします。**

5 **確認画面が表示されたら、はい にタッチします。**

続けて OK にタッチして操作を終了してください。

優先的に接続する携帯電話を設定する

本機は3台までBLUETOOTH機器を登録することができます。どのBLUETOOTH機器を優先して接続するかを設定することができます。

1 **電話画面で 設定 にタッチします。**

設定画面が表示されます。

2 **優先接続設定 にタッチします。**

優先接続設定画面が表示されます。

3 **変更 にタッチします。**

4 **「優先1」に設定するBLUETOOTH機器名称にタッチし、続けて「優先2」に設定するBLUETOOTH機器名称にタッチします。**

選択し直す場合は やりなおし にタッチします。

5 **OK にタッチします。**

自動着信を設定する

電話がかかってきた時に、自動的に電話を受けるかどうか設定します(初期設定値は「する」)。

1 **電話画面で 設定 にタッチします。**

設定画面が表示されます。

2 **着信設定 にタッチします。**

着信設定画面が表示されます。

3 **「自動着信」の する または しない にタッチします。**

設定項目:自動着信

設定値:する/しない

する:着信があると自動的に電話を受けます。

しない:手動で電話を受けます。

自動着信時間を設定する

自動着信設定時、何秒経過したら電話を受けるのかを5秒刻みで設定することができます(初期設定値は「10秒」)。

1 **着信設定画面で「自動着信時間(秒)」の ◀ または ▶ にタッチして秒数を設定します。**

設定項目:自動着信時間(秒)

設定値:5/10/15/20

本機のBLUETOOTH情報を表示する

本機のデバイス名とデバイスアドレスを表示します。また、デバイス名を変更することができます(初期設定値は「Gathers」)。

1 **電話画面で 設定 にタッチします。**

設定画面が表示されます。

2 **Bluetooth本体情報 にタッチします。**

デバイス名とデバイスアドレスがBluetooth本体情報画面に表示されます。

本機のデバイス名を変更する

携帯電話でサーチした際に画面上に表示される本機のデバイス名を変更します。

1 **Bluetooth本体情報画面で「デバイス名」の 変更 にタッチします。**

デバイス名変更画面が表示されます。

2 **名称を入力し、決定 にタッチします。**

- 文字にタッチして入力します。
- ⌫ にタッチすると、入力した文字が1文字ずつ削除されます。

確認のメッセージが表示されます。

3 **はい にタッチします。**

続けて OK にタッチして操作を終了してください。

WX-151CPのみ

iPhone連携

本機とiPhoneをリンクし、本機でiPhoneのアプリ操作を行うことができます。

- 安全のため、運転中はスマートフォンの操作を行わないでください。運転中の携帯電話のご使用は法律で禁止されています。

■iPhone連携機能 76
iPhoneの接続 76
スマートフォンの時刻情報を利用する 77

iPhone連携機能

iPhoneを本機に接続して、iPhoneにインストールされているアプリケーションを本機の画面に表示し、操作を行うことができます。また、iPhoneの時刻情報を本機で利用することができます。
iPhone連携機能を使用するには、「iPhoneアプリ連携設定」(84ページ)を「する」に設定してください。

- 接続図は「本機と外部機器との接続について－iPhone連携機能を使う(WX-151CPのみ)」(11 ページ)を参照してください。
- iPhone連携時は、USB接続のiPod/iPhone(41ページ)、HDMI対応機器(53ページ)、BLUETOOTH AUDIO(55ページ)操作を行うことはできません。
- 本機対応iPhoneについては、「iPod/iPhoneについてのご注意」(8ページ)を参照してください。

iPhoneの接続

1 本機とiPhoneをBLUETOOTH接続します。

- 「携帯電話を接続する」(65ページ)を参照し、本機にiPhoneを登録して接続してください。

2 本機のHDMI端子に、デジタルAVアダプタをHDMIケーブル(市販品)で接続します。

- LightningコネクタのiPhoneはLightning-Digital AVアダプタ(Apple製)、Dockコネクタのiphoneは30ピンDigital AVアダプタ(Apple製)を使用してHDMI機器として接続してください。
- 「HDMI機器の接続(WX-151CPのみ)」(21ページ)を参照してください。

3 iPhoneとデジタルAVアダプタを接続します。

- デジタルAVアダプタとHDMIケーブルを本機に接続してから、iPhoneを接続してください。iPhoneとデジタルAVアダプタを先に接続すると、iPhone連携ができない場合があります。

4 iPhoneを充電しながら使用する場合には、iPhone付属のUSBケーブルで本機のUSB端子と接続します。

- 「iPod/iPhoneの接続」(20ページ)を参照してください。

5 HOME スイッチを押します。

6 LINK にタッチします。

7 アプリアイコンにタッチします。

画面にタッチしてアプリを操作します。

- iPhoneはiPhone連携用アプリケーションのインストールが必要です。対応iPhoneおよびアプリケーションのインストールについては、インターナビのホームページで確認してください。
  http://www.honda.co.jp/internavi/
- 表示内容や対応アプリは変更となる場合があります。
- 負荷状態によってはiPhoneの充電ができない場合があります。
- HDMI接続されていない場合は LINK にタッチすることはできません。
  また、BLUETOOTH接続されていない場合は、メッセージが表示されます。
- アプリケーション操作中に HOME スイッチを押すとiPhoneのホーム画面に戻ります。iPhoneのホーム画面で HOME スイッチを押すと、本機HOME画面が表示されます。
- 本機の MENU スイッチ、BACK スイッチを押して操作することはできません。
- キーボード画面での入力操作は、走行中は安全のため行うことはできません。
- iPhoneまたはiOSの仕様が変更となった場合は、iPhone連携機能が使えなくなる場合があります。

スマートフォンの時刻情報を利用する

スマートフォン接続時、スマートフォンアプリから取得した時刻情報を利用して本機時刻の自動補正を行います(初期設定値は「する」)。

1 MENU スイッチを押します。

設定画面が表示されます。

2 時計設定 にタッチします。

時計設定画面が表示されます。

3 「スマートフォン自動補正」の する または しない にタッチします。

4 設定が終了したら ⮌ にタッチします。

設定画面に戻ります。

- 本機能を使用する際は、スマートフォンのGPS機能をONに設定してください。
- スマートフォン連携用アプリケーションのインストールが必要です。対応スマートフォンおよびアプリケーションのインストールについては、インターナビのホームページで確認してください。
http://www.honda.co.jp/internavi/

設定・調整

■画質調整 80
画質調整操作 80
■AUDIO設定 81
AUDIO設定操作 81
■時計設定 82
時計設定操作 82
■リアカメラ設定 83
次回表示ビューモードを選択する（リアワイドカメラ接続時のみ） 83
■その他設定 84
操作音の設定 84
iPhone LINKの設定（WX-151CPのみ） 84
本機を工場出荷状態に戻す 85

画質調整

画面のコントラストや明るさなど、お好みに合わせて調整することができます。モードによって設定できる項目は異なりますが、設定操作は共通です。

画質調整操作

1 **画質を調整したい画面で、HOME (■画質)スイッチを2秒以上押します。**

画面右側に画質調整画面が表示されます。

2 **設定したい項目(明るさ/コントラスト/色の濃さ/色合い)にタッチします。**

モードによって設定できる項目が異なります

- 映像の各モード(ワンセグ、USBビデオ、HDMI、リアカメラ、iPhone連携:
  明るさ/コントラスト/色の濃さ/色合い
- 上記以外のメニュー、オーディオモード画面等:
  明るさ/コントラスト

• 映像画面はそれぞれのモードで調整可能です。

3 **◀ または ▶ にタッチして画質を調整します。**

4 **さらに別の項目を調整するには、手順2 ～ 3を繰り返します。**

5 **調整が終了したら 閉じる にタッチして画質調整画面を終了します。**

• 調整した画質を工場出荷時の状態に戻すには 初期値 にタッチします。

映像の明るさを調整する

設定項目: 明るさ

設定値: 0～+10

0～+10の間で明るさを調整します。

• 初期設定値は「+5」。
• 昼画面/夜画面それぞれで調整することができます。

映像コントラストを調整する

設定項目: コントラスト

設定値: 0～+10

0～+10の間でコントラストを調整します。

• 初期設定値は「+5」。

映像の色の濃さを調整する

設定項目: 色の濃さ

設定値: 0～+10

0～+10の間で色の濃さを調整します。

• 初期設定値は「+5」。
• 色の濃さの調整は、映像モード時のみ可能です。

映像の色合いを調整する

設定項目: 色合い

設定値: 0～+10

0～+10の間で色合いを調整します。

• 初期設定値は「+5」。
• 色合い調整は、映像モード時のみ可能です。

AUDIO設定

AUDIO設定操作

次の手順はAUDIO設定の共通操作になります。設定内容について詳しくは、各項目を参照してください。

1 MENU スイッチを押します。

設定画面が表示されます。

2 AUDIO設定 にタッチします。

AUDIO設定画面が表示されます。

3 設定したい項目の ◀、▶ または設定値にタッチして、設定を行います。

設定項目：EQ設定/BASS/TREBLE/BALANCE/FADER/車速連動音量/CD優先再生

4 設定が終了したら、⮌ にタッチします。

設定画面に戻ります。

■ WX-151CPはHOME画面からもAUDIO設定画面を表示できます。

1) HOME スイッチを押します。
2) 設定 にタッチします。
3) AUDIO設定 にタッチします。

EQを設定する

あらかじめ設定されているイコライザー特性を選択し、お好みの音質に設定できます（初期設定値は「FLAT」）。

設定項目： EQ設定

設定値： FLAT/POPS/ROCK/JAZZ/HIPHOP/CLASSICAL

低音域を調整する

バスレベルを調整することで低音域を強めたり、弱めたりすることができます（初期設定値は「±0」）。

設定項目： BASS

設定値： −6〜+6

高音域を調整する

トレブルレベルを調整することで高音域を強めたり、弱めたりすることができます（初期設定値は「±0」）。

設定項目： TREBLE

設定値： −6〜+6

バランスの調整

左右のスピーカー音量バランスを調整します（初期設定値は「中央」）。

設定項目： BALANCE

設定値： 左9〜中央〜右9

フェダーの調整

前後のスピーカー音量バランスを調整します（初期設定値は「中央」）。

設定項目： FADER

設定値： 後9〜中央〜前9

車速連動音量を設定する

走行中のオーディオ音量を自動で調整します。加速すると自動的に音量が大きくなり、減速すると自動的に音量が小さくなります（初期設定値は「MID」）。

設定項目： 車速連動音量

設定値： OFF/LOW/MID/HIGH

- 「HIGH」に設定すると音量変化が大きく、「LOW」は小さくなります。お好みに応じて設定してください。

ディスク再生データの設定

ディスクを再生する際、オーディオデータ（CD-DA）のみを再生するか、圧縮オーディオデータ（MP3/WMA）を再生するかを設定することができます（オーディオデータとMP3/WMAデータ混在ディスク使用時）（初期設定値は「CDDA」）。

設定項目： CD優先再生

設定値： CDDA/DATA

CDDA：CD-DAオーディオデータ再生

DATA：MP3/WMAオーディオデータ再生

時計設定

時計設定操作

次の手順は時計設定の共通操作になります。設定内容について詳しくは、各項目を参照してください。

1 MENU スイッチを押します。

設定画面が表示されます。

2 時計設定 にタッチします。

時計設定画面が表示されます。

3 設定したい項目の する、しない または設定値にタッチして、設定を行います。

設定項目：時計表示/映像画面での時計表示/12h/24h切替/時計調整/スマートフォン自動補正※

※「スマートフォン自動補正」(WX-151CPのみ)の操作は「スマートフォンの時刻情報を利用する」(77ページ)を参照してください。

4 設定が終了したら、 にタッチします。

設定画面に戻ります。

■ **WX-151CPはHOME画面からも時計設定画面を表示できます。**

1) HOME スイッチを押します。
2) 設定 にタッチします。
3) 時計設定 にタッチします。

時計表示を設定する

映像モード以外の画面で、時計を表示するかどうか設定します(初期設定値は「する」)。

設定項目：時計表示

設定値：　する/しない

映像画面で時計を表示する

映像モード画面で、時計を表示するかどうか設定します(初期設定値は「する」)。

設定項目：映像画面での時計表示

設定値：　する/しない

時計表示方法の設定(12h/24h)

時計の表示方法を、12時間表示または24時間表示に設定します(初期設定値は「12h」)。

設定項目：12h/24h切替

設定値：　12h/24h

時刻を設定する

設定項目：時計調整

1) 時計設定画面で「時計調整」の 調整 にタッチします。

時計調整画面が表示されます。

2) 数字にタッチして時刻を入力します。

3) 決定 にタッチします。

- 数字を修正するときは ◀x にタッチすると、1字ずつ修正することができます。
- 「スマートフォン自動補正」を「する」に設定している場合は、時刻調整後、設定解除の確認画面が表示されます。 はい にタッチしてください。

リアカメラ設定

次回表示ビューモードを選択する(リアワイドカメラ接続時のみ)

リアワイドカメラ標準装備車または本機に別売のリアワイドカメラを接続しているとき、トップダウンビューで終了した場合の、次に表示するビューモードを設定することができます(初期設定値は「前回表示ビューと同じ」)。

- リアワイドカメラを接続していない場合は、「リアカメラ設定」は設定画面に表示されず、本設定を行うことはできません。

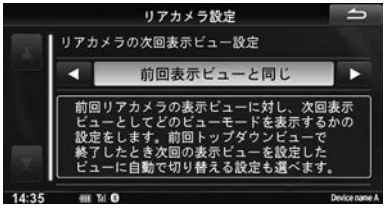
1 (MENU) スイッチを押します。

設定画面が表示されます。

2 リアカメラ設定 にタッチします。

リアカメラ設定画面が表示されます。

3 ◀ または ▶ にタッチして、「前回表示ビューと同じ」「トップダウンビュー時は次回ワイドビュー」「トップダウンビュー時は次回ノーマルビュー」のいずれかを選びます。



トップダウンビューでリアカメラ表示を終了した場合の、次回の表示ビューを設定します。

前回表示ビューと同じ:
トップダウンビュー終了時、次回もトップダウンビューを表示する

トップダウンビュー時は次回ワイドビュー:
トップダウンビュー終了時、次回はワイドビューに自動で切りかえる

トップダウンビュー時は次回ノーマルビュー:
トップダウンビュー終了時、次回はノーマルビューに自動で切りかえる

4 設定が終了したら、⮌ にタッチします。

設定画面に戻ります。

■ WX-151CPはHOME画面からもリアカメラ設定画面を表示できます。

1) (HOME) スイッチを押します。
2) 設定 にタッチします。
3) リアカメラ設定 にタッチします。

その他設定

操作音の設定

本機操作時に、キー操作音を鳴らすかどうか設定します(初期設定値は「する」)。

1 MENU スイッチを押します。

設定画面が表示されます。

2 その他設定 にタッチします。

その他設定画面が表示されます。

3 「操作音出力」の する または しない にタッチします。

4 設定が終了したら、 にタッチします。

設定画面に戻ります。

■ WX-151CPはHOME画面からもその他設定画面を表示できます。

1) HOME スイッチを押します。
2) 設定 にタッチします。
3) その他設定 にタッチします。

iPhone LINKの設定(WX-151CPのみ)

次の手順はLINK設定操作になります。設定内容について詳しくは、各項目を参照してください。

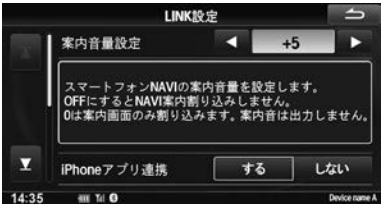
1 MENU スイッチを押します。

設定画面が表示されます。

2 その他設定 にタッチします。

3 LINK設定 にタッチします。

LINK設定画面が表示されます。



4 「案内音量設定」の ◀、▶ にタッチ、または「iPhoneアプリ連携」の する または しない にタッチして設定します。

5 設定が終了したら、 にタッチします。

設定画面に戻ります。

■ HOME画面からもその他設定画面を表示できます。

1) HOME スイッチを押します。
2) 設定 にタッチします。
3) その他設定 にタッチします。

ナビアプリの案内音量を設定する

ナビアプリの案内音量を調整します(初期設定値は「+5」)。

設定項目: 案内音量設定

設定値: OFF、0～+10

OFF:	ナビアプリの割り込み案内は行われない
0:	案内画面の割り込み表示のみを行い、案内音声は出力されない
+1～+10:	割り込み案内を行い、案内時音声の音量が設定される

iPhoneアプリ連携設定

iPhoneアプリと本機を連携するかどうか設定します(初期設定値は「する」)。

設定項目: iPhoneアプリ連携

設定値: する/しない

本機を工場出荷状態に戻す

本機で設定した全ての項目の設定値を初期化します。

1 MENU スイッチを押します。

設定画面が表示されます。

2 その他設定 にタッチします。

その他設定画面が表示されます。

3 「工場出荷状態に戻す」の 実行 にタッチします。

4 確認画面が表示されたら はい にタッチします。

情報消去後、本機が再起動します。

- 消去した情報は復活できませんので、ご注意ください。

■ WX-151CPはHOME画面からもその他設定画面を表示できます。

1) HOME スイッチを押します。
2) 設定 にタッチします。
3) その他設定 にタッチします。

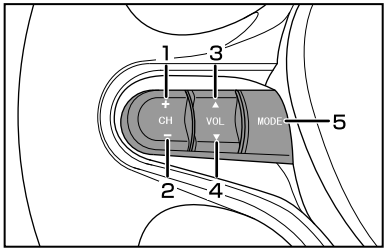
その他

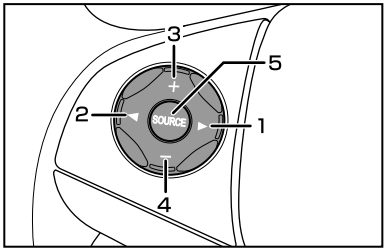
■オーディオリモコンスイッチ操作 88
■本機対応の圧縮フォーマットについて 89
本機対応のファイル形式について 89
圧縮オーディオ・ビデオについて 90
■初期設定一覧 93
■トラブルシューティング（故障かな？と思ったら） 94
■トラブルシューティング（表示メッセージと対処方法） 97
■電波に関する注意事項 99
■保証について/規格 100
■索引 103

オーディオリモコンスイッチ操作

オーディオリモコン標準装備車または別売のオーディオリモコンを装備している場合、運転中にオーディオリモコンスイッチから操作を行うことができます。
オーディオリモコンスイッチの形状は車種により異なります。下記イラストはイメージです。

- 車種によってオーディオリモコンスイッチが装備できない場合があります。
- 車両によってオーディオリモコンスイッチが標準装備されている場合があります。
- オーディオリモコンスイッチは、オーディオモードOFF時(25ページ参照)には操作することができません。





1	CH+ / ▶	**ラジオ・ワンセグ:** プリセットがひとつずつアップします。長押しすると自動的にチャンネルを探し出し、受信します。 **ディスク(MP3/WMA)・USB:** 次の曲の頭出しをします。長押しすると次のフォルダの最初の曲を再生します。 **ディスク(CD)・iPod・BLUETOOTH AUDIO:** 次の曲の頭出しをします。
2	CH− / ◀	**ラジオ・ワンセグ:** プリセットがひとつずつダウンします。長押しすると自動的にチャンネルを探し出し、受信します。 **ディスク(MP3/WMA)・USB:** 再生中の曲の頭出しをします。続けて押すと前の曲の頭出しをします。長押しすると前のフォルダの最初の曲を再生します。 **ディスク(CD)・iPod・BLUETOOTH AUDIO:** 再生中の曲、または前の曲の頭出しをします。
3	VOL▲ / +	音量が大きくなります。長押しすると連続して音量が大きくなります。
4	VOL▼ / −	音量が小さくなります。長押しすると連続して音量が小さくなります。
5	MODE / SOURCE	オーディオモードが切りかわります。※ • WX-151CP FM1→FM2→AM→CD→ワンセグ→iPod/USB→HDMI→BLUETOOTH Audio→iPhone連携→FM1 • WX-151C FM1→FM2→AM→CD→ワンセグ→iPod/USB→FM1

※ 接続されていない、または選択できないオーディオモードには切りかわりません。

本機対応の圧縮フォーマットについて

本機対応のファイル形式について

本機は下記のファイル形式とメディアに対応しています。

	対応ファイル形式			対応メディア	
	音声形式	映像形式	拡張子	CD-R/CD-RW	USB
オーディオ	MP3	−	.mp3 .MP3	○	○
	WMA	−	.wma .WMA	○	○
	AAC	−	.m4a .M4A	×	○
ビデオ	−	MP4	.mp4 .MP4 .m4v .M4V	×	○
	−	AVI	.avi .AVI	×	○
	−	WMV	.wmv .WMV	×	○

ファイルの規格について

● MP3(ディスク)

フォーマット:MPEG-1 Audio Layer Ⅲ、MPEG-2 Audio Layer Ⅲに準拠
サンプリング周波数:8kHz ～ 48kHz
ビットレート:8kbps ～ 320kbps

● MP3(USB)

フォーマット:MP3
サンプリング周波数:8kHz ～ 48kHz
ビットレート:8kbps ～ 384kbps

● WMA(ディスク)

フォーマット:Windows Media Audio 9に準拠
サンプリング周波数:16kHz ～ 48kHz
ビットレート:32kbps ～ 192kbps

● WMA(USB)

フォーマット:WMA9
サンプリング周波数:8kHz ～ 48kHz
ビットレート:8kbps ～ 384kbps

● AAC(USB)

フォーマット:AAC
サンプリング周波数:8kHz ～ 48kHz
ビットレート:8kbps ～ 384kbps

● MP4(USB)

ビデオフォーマット:MP4
ビデオビットレート:15Mbps
フレームレート:15fps ～ 30fps
最大解像度:1280×720

● AVI(USB)

ビデオフォーマット:AVI
ビデオビットレート:15Mbps
最大解像度:1280×720

● WMV(USB)

ビデオフォーマット:WMV
ビデオビットレート:10Mbps
フレームレート:15fps ～ 30fps
最大解像度:720×480

- VBRに対応しています。
- フリーフォーマットには対応していません。
- MPEG1、2、2.5でそれぞれビットレートが異なります。
- 低ビットレートのMP3/WMA/AACファイル再生時は十分な音質が得られない場合があります。

圧縮オーディオ・ビデオについて

• 個人で楽しむ以外は、オーディオデータ・ビデオデータを著作権者に無断で複製し、有料無料を問わず配付、転送、転載することは著作権法や国際協定で固く禁じられています。

MP3/WMA/AACについて

● MP3

正式には「MPEG Audio Layer3」といい、国際標準化団体のISOとIECの共同活動機関であるMPEGが定めた圧縮規格です。
MP3は音声データを圧縮した音声ファイルで、サウンドデータを非常に高い圧縮率で圧縮することができます。また、CDクオリティに近い音質を実現しても約1/10の圧縮率を得ることができます(サンプリング周波数44.1kHz、ビットレート128kbpsの場合)。
このような高圧縮率を実現しているMP3フォーマットは、人には聴き取れない音を消すことなどにより高圧縮を実現しています。

● WMA

正式には「Windows Media™ Audio」と言い、音声データを圧縮する方式です。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約半分)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにCD同等の音質を保ちます。

● AAC

AACとは「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG-2およびMPEG-4で使用される音声圧縮の基本フォーマットです。本機ではiTunes®AACファイル(著作権保護されていない)のみ対応しています。

MP4/WMV/AVIについて

● MP4

MPEG-4形式の圧縮動画データと、音声を格納するファイル形式のひとつです。

● WMV

正式には「Windows Media™ Video」と言い、映像データを圧縮する方式です。

● AVI

「Audio Video Interleave」の略で、動画用のファイルフォーマットです。

使用できるメディアについて

再生できるメディアはCD-R、CD-RW、USBメモリーです。

使用できるディスクのフォーマットについて

ISO9660レベル1、レベル2でフォーマットされたディスクに対応しています。
ISO9660規格では、フォルダのディレクトリ階層(最大8階層)やフォルダ/ファイル名の文字数、フォルダ/ファイル名で使用できる文字(A ～ Z、0 ～ 9、_(アンダスコア)、日本語·シフトJIS(ただし、シフトJISには非対応文字も存在します))などの制限があります。
また、JolietなどのISO9660準拠であれば、再生は可能です。ただし、フォルダ名/ファイル名などは正しく表示されない場合があります。
日本語を含むフォルダ名/ファイル名を使用することもできますが、この場合はJoliet形式(Microsoft社が提唱しているCD-Rの論理フォーマット)で書き込まないと認識できない場合があります。

フォルダ数/ファイル数について

本機で認識できるフォルダ数の上限:ディスク:255個、USBメモリー:FAT16/FAT32準拠
本機で再生可能なファイル数の上限:ディスク:509個※1※2、USBメモリー:FAT16/FAT32準拠

※1 1つのフォルダの中で再生可能なファイル数は509個まで、ディスク内のフォルダ数/ファイル数は合わせて最大509個です(ルートフォルダ除く)。

※2 対応拡張子のファイルであれば、本機対応のフォーマットでなくてもカウントされます。

- 収録ファイル数が多いと動作開始まで時間がかかります。そのような場合はファイル数を減らしてください。

ID3 タグ/WMA タグについて

ID3タグは、ディスクはID3v1.x、ID3v2.xに対応、USBメモリーはID3v2に対応しています。WMAタグは、ディスクはWMAv1.1、USBメモリーはWMAv1.xに対応しています。
タグ情報が入っていれば、タイトル名(曲名)、アーティスト名、アルバム名のタグ情報を表示できます。

フォルダ名/ファイル名の表示について

ディスク:ISO 9660 level 1/ISO 9660 level 2/Romeo/Joliet準拠
USBメモリー:FAT16/FAT32準拠

マルチセッションについて

マルチセッションに対応しております。"Track at once"で書き込んだ場合、クローズセッションや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

MP3/WMA/AACの再生について

- DRM(デジタル著作権管理Digital Rights Management)で著作権保護されたファイルは、本機では再生できません。
- 作成したライティングソフトや変換ソフトによっては、再生できない場合があります。
- AACファイルを作成したソフトによっては、ファイル形式と拡張子が異なります。本機ではVer.11.1.5.5までのiTunesを使用してエンコードされたAACファイルのみの再生に対応しています。

MP4/WMV/AVIの再生について

作成したライティングソフトや変換ソフトによっては再生できない場合があります。

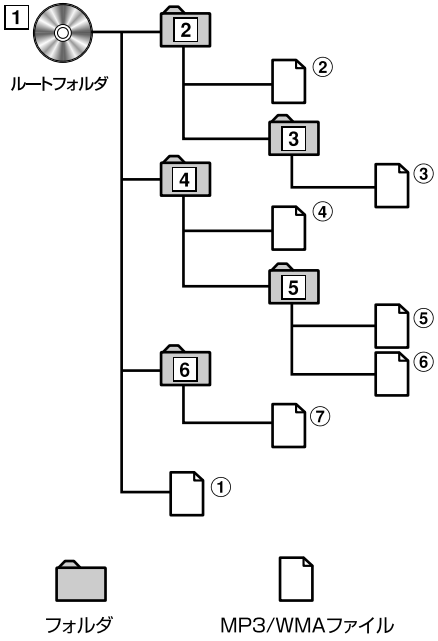
- 著作権保護されたファイルは、本機では再生できません。

MP3/WMA/AAC/MP4/WMV/AVIの再生時間表示について

MP3/WMA/AAC/MP4/WMV/AVIファイルの書き込み状況により、再生時間が一致しないことがあります。
VBRの早送り/早戻し動作をすると再生時間が一致しないことがあります。

MP3/WMAファイル、フォルダの演奏順について(ディスク)

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。
下図のようなフォルダ･ファイル階層のメディアでの演奏順は次の通りです(実際に表示される番号ではありません)。



初期設定一覧

項目	内容	初期設定値
画質調整	明るさ	+5
	コントラスト	+5
	色の濃さ	+5
	色合い	+5
AUDIO設定	EQ設定	FLAT
	BASS	±0
	TREBLE	±0
	BALANCE	中央
	FADER	中央
	車速連動音量	MID
	CD優先再生	CDDA
時計設定	時計表示	する
	映像画面での時計表示	する
	12h/24h切替	12h
	スマートフォン自動補正※	する
リアカメラ設定	リアカメラの次回表示ビュー設定	前回表示ビューと同じ
その他設定	操作音出力	する
	LINK設定 – 案内音量設定※	+5
	LINK設定 – iPhoneアプリ連携※	する
ラジオ	FM周波数	80.0MHz
	AM周波数	999kHz
	交通情報	1620kHz
ワンセグ	プリセット登録視聴エリア	東京
	モード	ホーム
	音声	主音声
ハンズフリー電話※	デバイス名	Gathers
	パスキー	1212
	送話音量	+6
	受話音量	+4
	着信音量	+4
	自動着信	する
	自動着信時間(秒)	10秒
リアカメラ	ガイド表示	ON
	警告文表示位置	下部

※ WX-151CPのみ

トラブルシューティング(故障かな？と思ったら)

操作のミスや勘違いを故障と間違えていませんか？ ⇨ 下の表をご覧ください。 ⇨ お買い上げのHonda販売店にご相談ください。

操作中に停止したままになったり、画面が暗くなるなど正常に動作しなくなった場合は、一度エンジンスイッチをOFF/ONしてください。それでも正常動作しない場合は以下の表を参照して処置を行ってください。

■ システム関係

症状	原因	対処	参照ページ
動作しない	ヒューズが切れている	お買い上げのHonda販売店にご相談ください	
	周囲の温度が50度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を50度以下にする	
	結露している	しばらく(1時間程度)放置し、乾いてから使う	
タッチキーがグレーになり操作できない	操作できないタッチキーをタッチした	車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作する。また、状況･設定などにより、操作できないタッチキーがある場合があります	
画面が見にくい	画面のコントラストや明るさ調整が不適正である	コントラストや明るさを調整する	80ページ
音が勝手に大きくなる/小さくなる	車速連動音量がOFF以外になっている	車速連動音量をお好みに設定する	81ページ

■ オーディオ･ビジュアル関係

症状	原因	対処	参照ページ
映像が不鮮明になったり、雑音が入ったりする	バッテリー電圧が低下している	バッテリー電圧/バッテリー液量/バッテリー液比重および配線を確認する(負荷状態で11ボルトを下回ると誤動作の原因となります)	
映像が出ない	パーキングブレーキをかけていない	パーキングブレーキをかける	
	ディスプレイOFFになっている	ロータリーエンコーダーを押して、ディスプレイOFFを解除する	25ページ
映像が出ない、または動きが悪い	車室内の温度が低い	車室内の温度を常温にする	
映像に斑点やしま模様が出る	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、自動車などからの影響	妨害電波を受けない場所に車を移動する	
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります	故障ではありませんので、そのままご使用ください	
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い	液晶の特性によるもの	故障ではありません。しばらくそのままでお待ちください	

症状	原因	対処	参照ページ
音が出ない	音量の調整不良	ロータリーエンコーダーを回して確認する	23ページ
	オーディオOFFになっている	ロータリーエンコーダーを押して、オーディオOFFを解除する	25ページ
片側のスピーカーだけ音が出る	スピーカーコードが外れている	お買い上げのHonda販売店にご相談ください	
	音量の調整不良	左右音量調整をして確認する	81ページ
CDが入らない	すでに1枚入っていて2枚目を入れようとしている	すでに入っているCDを取り出してから再生したいCDを入れる	37ページ
CDの再生ができない	結露している	しばらく放置してから使用する	
	CDに大きなキズやソリがある	他のCDを入れる	
	CDがひどく汚れている	クリーニングする	
ディスクの再生が始まらない/音が飛ぶ/音が歪む/早送りや早戻しができない	車内温度が50℃以上である	車内温度を常温まで下げてから再生する	
	ディスクに傷が付いている	他のディスクを再生してみる	
	ディスクがひどく汚れている		
	録音状態が良くない		
	本機対応のディスクでない		
	結露している	しばらく放置してから使用する	
映像も音も出ない	接続コードの接続が不完全	お買い上げのHonda販売店にご相談ください	
CD-R/CD-RWが再生できない	クローズセッション(ファイナライズ)処理を行っていない	クローズセッション(ファイナライズ処理)を行い、再度試してみる	
MP3/WMA/AACが再生されない	書き込みに失敗している/対応フォーマット以外で書き込まれている	書き込みに失敗していないか確認する。または、「本機対応のファイル形式について」を参照し、本機対応のフォーマットで書き込みを行う	89ページ
放送局が受信できない/雑音が入る(ラジオ)	アンテナが接続されていない	お買い上げのHonda販売店にご相談ください	
	放送局の周波数(チャンネル)が合っていない	周波数(チャンネル)を正しく合わせる	28～29ページ
	周りに障害物などがあり、受信状態が良くない	見通しが良いところに移動する	
自動的に放送局が選べない(ラジオ)	電波の弱い地域にいる	手動で受信する	28ページ
テレビ放送が受信できない。	テレビ放送用のアンテナが接続されていない	お買い上げのHonda販売店にご相談ください	
	放送が行われていない	他のチャンネルを選ぶ	
映像にブロックノイズが出る(テレビ)	電波状態が悪い	場所を移動する	
	アンテナが外れている	お買い上げのHonda販売店にご相談ください	
iPodが再生しない/iPodの音が出ない	iPodが認識されていない	iPodをリセットする iPodのリセットについては、iPod側のユーザーズガイドを参照してください	

症状	原因	対処	参照ページ
映像または音が出ない(HDMI)	本機対応以外の規格で出力設定されている	HDMI機器の出力設定を確認し、本機対応の規格に設定する	100ページ
	HDMI機器から映像/音声が出力されていない	HDMI機器側で出力設定を行う	
		一度HDMI機器のOFF/ONを行う	
		HDMI機器が画面OFFになっている場合は、HDMI機器を操作して画面を表示する	
	HDMI機器がBLUETOOTHオーディオ機器として、本機またはそれ以外の製品に接続されている	BLUETOOTH接続を解除する	66ページ
ハンズフリー通話中にエコー(残響音)やハウリングが起こる	本機側の受話音量が大きすぎる	受話音量を小さくする	72ページ
ハンズフリー通話中、相手側の音声が聞き取りにくい	自分と相手側が同時に発声している	お互いに一呼吸おいて交互に通話してください	
	受話音量が小さい	受話音量を大きくする	72ページ
リアカメラのガイドが表示されない	ガイド表示がOFFになっている	ガイド表示をONに設定する	60ページ
リアカメラのガイド表示が合っていない	ガイド表示が正しく調整されていない	Honda販売店での調整が必要なため、Honda販売店にご相談ください	
	乗車している人数や荷物、地形などにより車が傾いている	荷物を下ろした状態、平らな場所で確認し、調整が必要な場合はHonda販売店にご相談ください	

トラブルシューティング(表示メッセージと対処方法)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
走行中は安全の為操作できません。	設定画面、映像モード中に走行した	車を安全な場所に移動し、停車後パーキングブレーキを引いてから操作する	
異常検知で停止中です。	CDメカ関連エラー	お買い上げのHonda販売店にご相談ください	
高温のため停止中です。	車内温度が高すぎる	車内温度を常温まで下げる	
再生できないディスクです。 ディスクをお確かめください。	再生可能なディスクではない	本機で再生できるディスクを挿入する	6ページ
受信できませんでした。(ワンセグ)	オートプリセット、自動選局完了後に、受信可能な放送局がなかった	テレビ放送が受信可能な場所に移動して、再度オートプリセット、自動選局を実施する	33ページ
USBの接続を確認してください。	接続エラー	一度本機からUSBメモリーを外し、再接続する	21ページ
	USB端子接続機器に異常な電流が流れている/本機対象外のUSBメモリーが接続されている/USBメモリーがショートしている	本機対応のUSBメモリーを接続する	7ページ
iPodと通信できません。 iPodを再接続してください。	通信エラー	一度本機からiPod/iPhoneを外し、再接続する	20ページ
HDMI機器の接続が出来ません。	HDMI機器が正しく接続されていない	一度本機からHDMI機器を外し、再接続する	21ページ
HDMIケーブルを確認してください。	通信エラー	一度本機からHDMI機器を外し、再接続する	21ページ
非対応データのため再生できません。(HDMI)	対応規格以外の映像･音声データになっている	「本機で対応しているHDMI規格について」を参照し、本機対応のデータを再生する	9ページ
ビュー切替できません。 現在のビューを表示します。	通信エラー	お買い上げのHonda販売店にご相談ください	
スマートフォンに接続できません。	接続方法に誤りがある	再度正しい順序でiPhoneとの接続を行う	11、76ページ
	iPhone連携用アプリケーションがインストールされていない	iPhone連携用アプリケーションをインストールする アプリケーションのインストールについては、インターナビのホームページで確認してください http://www.honda.co.jp/internavi/	
	iPhoneが対応していない	対応iPhoneについてはインターナビのホームページを確認してください http://www.honda.co.jp/internavi/	
	iPhoneが反応しない	iPhoneをリセットする	
Bluetooth接続されていません。	本機とiPhoneがBLUETOOTH接続されていない	BLUETOOTH機器登録を行い、本機とiPhoneをBLUETOOTH接続する	65ページ
	BLUETOOTH接続が解除された	BLUETOOTH再接続を行う	66ページ

メッセージ	原因	対処	参照ページ
HDMIケーブルが接続されていません。	本機とiPhoneがHDMIケーブルで正しく接続されていない、またはHDMI接続が解除された	HDMIケーブルで本機とiPhoneを正しく接続する	21、76ページ
	iPhoneの電源がOFFになった	iPhoneの電源をONにする	
アプリケーションを起動できません。	iPhone連携用アプリケーションがインストールされていない	iPhone連携用アプリケーションをインストールする アプリケーションのインストールについては、インターナビのホームページで確認してください http://www.honda.co.jp/internavi/	
	スマートフォンがロックされている	スマートフォンのロックを解除する	
	スマートフォンを操作してアプリを終了した	スマートフォンでアプリを終了させない	
	iPhoneが反応しない	iPhoneをリセットする	
	アプリケーションが反応しない	iPhone上でアプリケーションを終了させる iPhoneをリセットする	
スマートフォンに接続できません。 一度USBを外す必要があります。	iPhoneがUSB接続されている状態で LINK をタッチした	USBケーブルからiPhoneを外し、正しい順序でiPhone接続を行う	76ページ

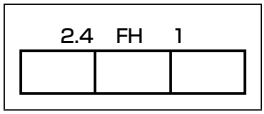
電波に関する注意事項

この機器の使用周波数帯では電子レンジ等の産業･科学･医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

① **この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。**

② **万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、Honda販売会社までご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えばパーティションの設置など)についてご相談してください。**

③ **その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、Honda販売会社へお問い合わせください。**



2.4 FH 1
① ② ③

①「2.4」GHz帯を使用する無線設備を表します
②「FH」変調方式を表します
③「1」想定される与干渉距離(約10m)を表します

保証について/規格

■ アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、この取扱説明書でもう一度ご確認ください。
- それでも調子が悪いときは、お買い上げのHonda販売会社に修理を依頼してください。
- 補修用性能部品は、製造打ち切り後、最低6年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げのHonda販売会社にお問い合わせください。
- 修理によって登録内容が消去される場合があります。修理を依頼する前には、必ず登録している内容の控えを取ってください。

■ 規格

モニター部	画面サイズ	6.1型
	表示方式	透過型TN液晶
	駆動方式	TFTアクティブマトリクス
	画素数	1,152,000画素
	有効画素数	99.99%以上
	使用光源	LEDバックライト方式
ラジオ･チューナー部	受信周波数	AM：522 ～ 1629kHz
		FM：76.0 ～ 90.0MHz
	実用感度	AM：37dB(μV)
		FM：15dB(μV)
	ステレオセパレーション	FM：30dB(20kHz LPF)
	SN比	AM：50dB(20kHz LPF)
		FM：55dB(20kHz LPF)
	歪率	AM：0.5%
		FM：0.3%
地上デジタルテレビ(ワンセグ)･チューナー部	受信周波数	473.143 ～ 707.143MHz
	回路方式	PLL周波数シンセサイザー
	受信チャンネル	UHF13 ～ 52チャンネル
	受信感度	－85dBm
BLUETOOTH部	BLUETOOTHバージョン	Bluetooth2.1＋EDR
	対応プロファイル	HFP、OPP、PBAP、A2DP、AVRCP、SPP、SYNC
	出力	+4dBm(Power Class2)
HDMI入力部	対応I/F	480p(720×480p　@59.94Hz/60Hz) 480i(1440×480i　@59.94Hz/60Hz)
CD部	方式	光学式(コンパクトディスク方式)
	量子化ビット数	1ビット
	チャンネル数	2チャンネル(ステレオ)
	高周波歪率	0.1%(1kHz)以下
	SN比	75dB以上
	周波数特性	20Hz ～ 20kHz

USBメモリー部	ファイルシステム	FAT 16/32
	再生信号圧縮方式	MP3、WMA、AAC、MP4、AVI、WMV
	供給電圧	5V
総合	電源電圧	DC12V マイナスアース
	最大出力	40W×4
	外形寸法(幅×高さ×奥行)	191mm×111.5mm×178mm※
	重量	約2.2kg

※ 突起部を除く

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 液晶パネルは非常に精度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があり得ますので、あらかじめご了承ください。

- BluetoothおよびBluetoothロゴは、米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- 本製品のBLUETOOTHソフトウェア･スタックは株式会社東芝が開発したBLUETOOTH® Stack for Embedded Systems Spec 1.2を搭載しております。お客様は本ソフトウェアを改変し、またはリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすることはできません。お客様は本ソフトウェアを、有償、無償に関わらず第三者に販売、頒布、貸与、譲渡等、あるいは再使用許諾することはできません。
- Windows MediaおよびWindowsは、米国及びその他の国で登録されているMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。
- MPEG Layer-3オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonから実施許諾されています。
- 本製品の供給は、収益を発生する放送システム、ストリーミングアプリケーション、その他のコンテンツ配信システム、または物理的媒体で、本製品で創作されたコンテンツを配信する権利を暗示するものでもありません。当該使用には、独立したライセンスが必要です。詳細に関しては、http://mp3licensing.comにアクセスしてください。
- HDMIとHDMI High-Definition Multimedia Interface用語およびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの米国その他国々における商標または登録商標です。
- iPodは米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
  Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
  Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

■ 次の点にご留意ください

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

索引

■ 五十音順

あ

アーティスト …… 45
アートワーク …… 42
明るさ …… 80
圧縮フォーマットについて …… 89
アフターサービスについて …… 100
アルバム …… 45
案内音量設定 …… 84

い

一時停止 …… 57
色合い …… 80
色の濃さ …… 80
インジケーター …… 20

え

映像画面での時計表示 …… 82

お

オーディオモード …… 24
オーディオモード切りかえキー …… 24
オーディオモードをOFFにする …… 25
オーディオリモコンスイッチ …… 88
オートセレクト …… 29
オートセレクトモード …… 29
オートプリセット …… 33
お出かけモード …… 34
音声切替 …… 34
音声多重放送 …… 34
音量調整 …… 23

か

ガイドOFF …… 60
ガイドON …… 60
外部機器との接続 …… 10
各部の名称 …… 18
画質スイッチ …… 19
画質調整 …… 80
カテゴリー …… 46
カテゴリーアップ/ダウンキー …… 46

き

規格 …… 100
機器変更 …… 66
曲順を変えて聴く …… 38, 43
曲順を変えて再生する …… 57
曲のイントロだけを聴く …… 39, 50

く

繰り返し聴く …… 38
繰り返し再生する …… 43, 50, 57
グループを選ぶ …… 58

け

警告文移動 …… 61
携帯電話から探す …… 65
携帯電話を探す …… 66

こ

工場出荷状態に戻す …… 85
交通情報 …… 30
コーション表示位置の調整 …… 61
故障かな？と思ったら …… 94
コントラスト …… 80

さ

サーチ中インジケーター …… 32
サーチバー …… 26
サーチモード階層 …… 45
サービスを切りかえる …… 34
再接続 …… 66
作曲者 …… 45

し

自動着信 …… 74
自動着信時間(秒) …… 74
車速連動音量 …… 81
シャッフル …… 43
シャッフルALL …… 44
ジャンル …… 45
主音声 …… 34
受話音量 …… 72
初期設定一覧 …… 93

す

スキャン …… 29, 39, 50
スクロール表示 …… 34, 39, 44, 51, 58
全ての曲をシャッフル再生する …… 44
スマートフォン自動補正 …… 77

せ

接続解除 …… 66
前回表示ビューと同じ …… 83

そ

操作音出力 …… 84
送話音量 …… 72
送話ミュート …… 72
その他設定 …… 84

た

タッチキー …… 20
短縮ダイアル …… 68

ち

着信音量 …… 67
着信履歴 …… 69

て
ディスクイジェクトスイッチ …… 19
ディスクについてのご注意 …… 6
ディスプレイをOFFにする …… 25
デバイスアドレス …… 74
デバイス名 …… 74
電源のON/OFF …… 23
電話 …… 65
電話設定 …… 73
電話帳 …… 70
電話帳読込 …… 70
と
登録 …… 65
トーン …… 72
時計設定 …… 82
時計調整 …… 82
時計表示 …… 82
トップダウンビュー …… 61
トップダウンビュー時は次回ノーマルビュー … 83
トップダウンビュー時は次回ワイドビュー …… 83
トラックリストサーチ(CD) …… 40
トラブルシューティング …… 94, 97
の
ノーマルビュー …… 61
は
パーセントサーチ機能 …… 26
パスキー …… 65
パスコード変更 …… 73
発信履歴 …… 70
バランス …… 81
番号入力 …… 71
ハンズフリー電話 …… 64
ハンズフリー用内蔵マイク …… 19
バンド …… 28
ひ
表示メッセージと対処方法 …… 97
昼画面 …… 25
ふ
ファイル形式 …… 89
ファイルサーチ …… 52, 58
ファイルサーチ(MP3/WMA) …… 40
ファイルの規格 …… 89
フェダー …… 81
フォルダを選ぶ …… 52
フォルダを選ぶ(MP3/WMA) …… 40
副音声 …… 34
プリセット …… 29, 33
プリセットモード …… 29
ブルートゥース …… 64
プレイリスト …… 45
プロファイル …… 64
ほ
放送局を記憶する …… 29
ホームモード …… 34
保証について …… 100
保留 …… 67
ま
マイク …… 19
マニュアルモード …… 29
マルチ編成番組 …… 34
ゆ
優先接続設定 …… 73
よ
夜画面 …… 25
ら
ランダム …… 38, 50, 57
り
リアカメラ …… 60
リアカメラガイドの見かた …… 61
リアカメラ設定 …… 83
リスト画面の操作 …… 25
リダイアル …… 69
リピート …… 38, 43, 50, 57
ろ
ロータリーエンコーダー …… 19
わ
ワイドビュー …… 61
ワンセグ …… 32

■ アルファベット順

A
AAC …… 89
AM …… 28
A.SEL …… 29
A.SELインジケーター …… 28
AUDIO …… 24, 49
AUDIO OFF …… 25
AUDIO設定 …… 81
AVI …… 89
B
BACKスイッチ …… 19
BALANCE …… 81
BASS …… 81
BLUETOOTH …… 64
Bluetooth AUDIO …… 57
Bluetooth機器登録 …… 65
Bluetooth本体情報 …… 74
C
CD …… 37, 38
CD挿入口 …… 19
CDの出し入れ …… 37
CD優先再生 …… 81
D
DISP OFF …… 19, 25

E
EQ設定 …… 81
F
FADER …… 81
FM1 …… 28
FM2 …… 28
FM/AM …… 28
G
Gathers …… 74
GROUP …… 58
H
HDMI …… 54
HDMI機器の接続 …… 21
HDMI端子 …… 19
HDMIについてのご注意 …… 9
HOME画面 …… 23
HOMEスイッチ …… 19
I
iPhoneアプリ連携 …… 84
iPhone連携機能 …… 76
iPod/iPhoneについてのご注意 …… 8
iPod/iPhoneの接続 …… 20
iPod/USB …… 42, 49
L
LINK …… 76
LINK設定 …… 84
M
MENUスイッチ …… 19
MP3 …… 89
MP4 …… 89
P
Podcast …… 45
POWER …… 19, 25
S
SCAN …… 29, 39, 50
SCANインジケーター …… 28
STインジケーター …… 28
T
TREBLE …… 81
U
USB端子 …… 19
USBメモリー …… 48
USBメモリーについてのご注意 …… 7
USBメモリーの接続 …… 21
V
VIDEO …… 49
W
WMA …… 89
WMV …… 90

■ 数字順

12h/24h切替 …… 82

■ 商品についてのお問い合わせは、お買い求めのHonda販売店または
株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル　0120-663521

（受付時間：**9時～ 12時、13時～ 17時**／
但し、土日・祝祭日、弊社指定休日は除く）

■ インターナビ・リンクおよび専用アプリについてのお問い合わせは、
インターナビ情報センターサポートデスクまでお願いします。

本田技研工業株式会社
「インターナビ情報センター　サポートデスク（会員専用）」

全国共通フリーダイヤル　0120-738147

（受付時間　9時～ 12時、13時～ 17時
ゴールデンウィーク／夏期／年末年始休業を除く

販売元　株式会社ホンダアクセス　〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号

製造元　アルパイン株式会社　〒141-8501 東京都品川区西五反田 1丁目1番地8号

PART NO. 08A00-1T0-4000-8A
Printed in Japan (Y-742)　PART NO. 68-26018Z81-A